

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用し、特記無き事項は「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事共通仕様書」平成（ ）年度版に準ずる。
住宅瑕疵担保履行法による設計施工基準に準拠する必要がある場合はこれを優先する。
- (2) 記号
d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D…部材の成 R…直径
θ…間隔 r…半径 ℓ…中心線 l…部材の内寸法距離 h…部材間の内法高さ
ST…あばら筋 HOOP…帯筋 S.HOOP…補強帯筋 ϕ…直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

折曲げ角度	180°	135°	90°	<div>折まげ角度90°はスラブ筋、壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込む形およびL形梁のキャップタイにのみ用いる。</div> <div>※片持スラブ、L配筋の先端</div>
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)	
折曲げ内法寸法R	SR235：R≧3d SD295A・SD295B・SD345：(D16以下)R≧3d、(D19以上)R≧4d SD390：R≧5d			

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋折り曲げ角度90°以下

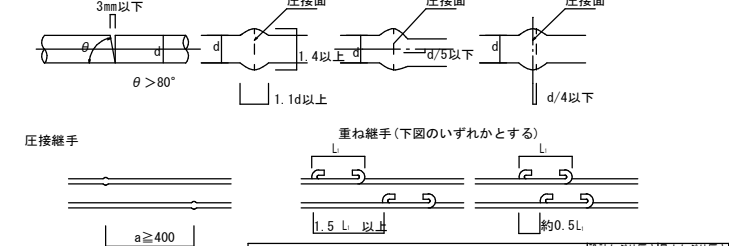
図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内の寸法(R)
	帯あばら筋 スパイラル筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ以下 D16 19φ以上 D19	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295A SD295B、SD345 ()内はSD390	16φ以下 D16 19φ～25φ D19～D25 28φ～32φ D29～D38	4d以上 (5d以上) 6d以上 (6d以上) 8d以上 (8d以上)

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手長さ（定着長さは設計図書による。特記の無い場合は下記による）

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定 着 の 長 さ			特別の定着及び重ね継手の長さ(L1)
		一般 (L2)	下ば筋 (L3)		
			小 梁	スラブ	
SD295	18	40d または 30d フックつき	20d または 10d フックつき	10d かつ 15cm以上	45d または 35dフックつき
	21	35d または 25d フックつき			40d または 30dフックつき
	24 ～ 27	30d または 20d フックつき			35d または 25dフックつき
	30 ～ 36	30d または 20d フックつき			35d または 25dフックつき
SD345	18	40d または 30d フックつき			50d または 35dフックつき
	21	35d または 25d フックつき			45d または 30dフックつき
	24 ～ 27	35d または 25d フックつき			40d または 30dフックつき
	30 ～ 36	30d または 20d フックつき			35d または 25dフックつき

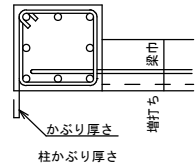
継手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が5mmを超える場合は、圧接としてはならない



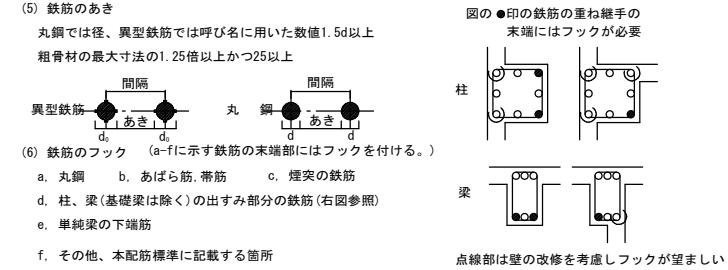
(4) かぶり厚さ（単位：mm）

ひびわれ誘発目地部など鉄部のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所に付いても最小かぶり厚さを確保する。

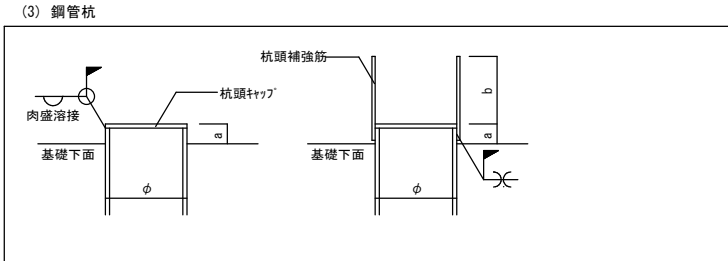
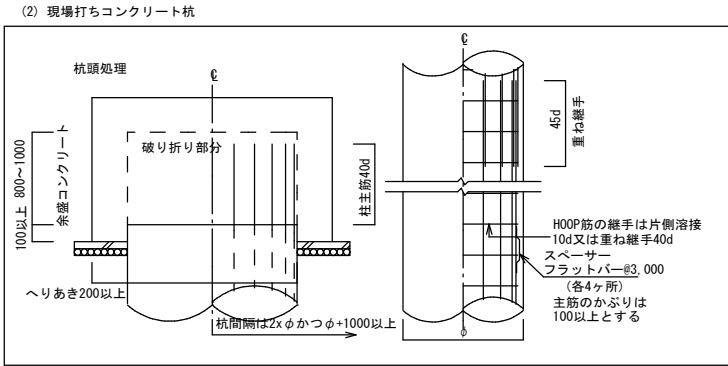
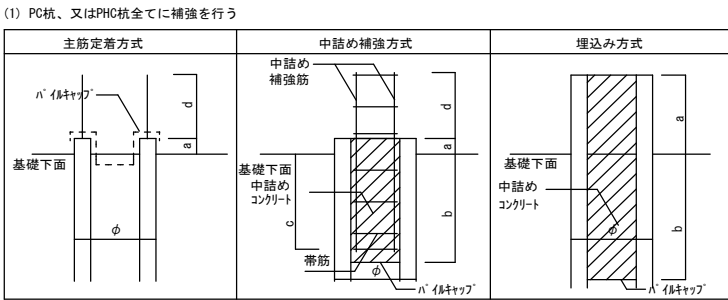


部 位	設計かぶり厚さ(最小かぶり厚さ)	部 位		設計かぶり厚さ(最小かぶり厚さ)
		厚根スラブ	非耐力壁	
土に接しない部分	はり	屋 内	屋 外	30 (20)
		屋 内	屋 外	40 (30)
		屋 内	屋 外	40 (30)
		屋 外	屋 外	40 (30)
土に接する部分	柱・はり・スラブ・耐力壁	基 礎	擁 壁	50 (40)
		基 礎	擁 壁	70 (60)

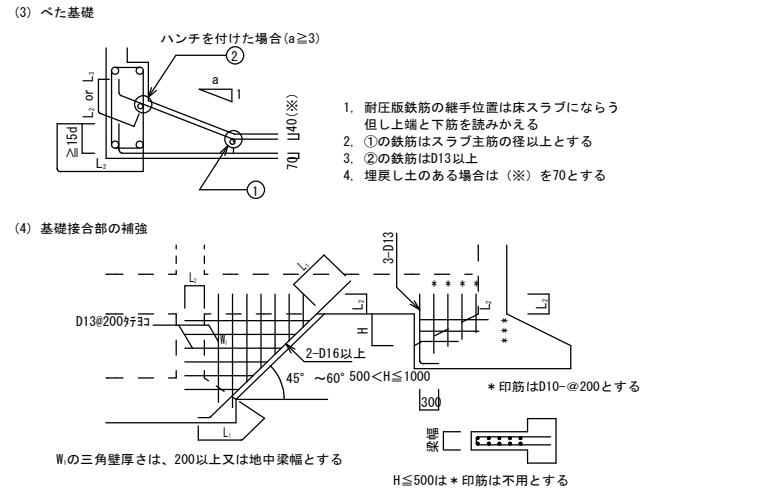
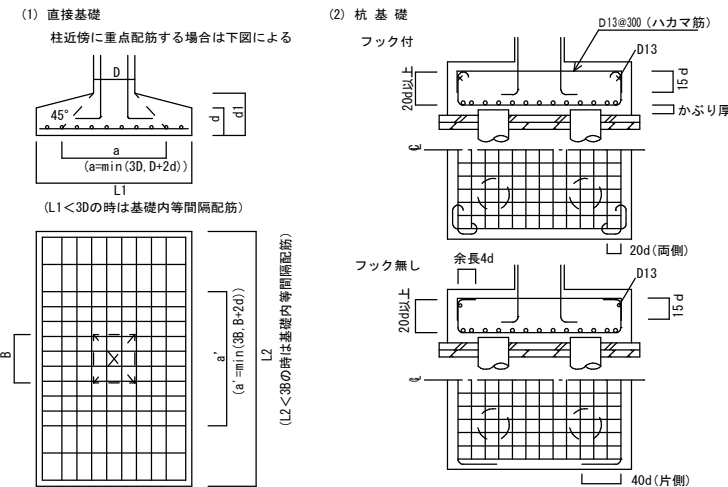
- (注)
- (1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。
 - (2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 - (3) コンクリートの品質及施工法に応じ、工事管理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 - (4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
 - (5) () 内は仕上げがある場合。
 - (6) 鉄筋加工時の被り厚さは、設計かぶり厚さを採用し、最小かぶり厚さを下回ることをないようにする。



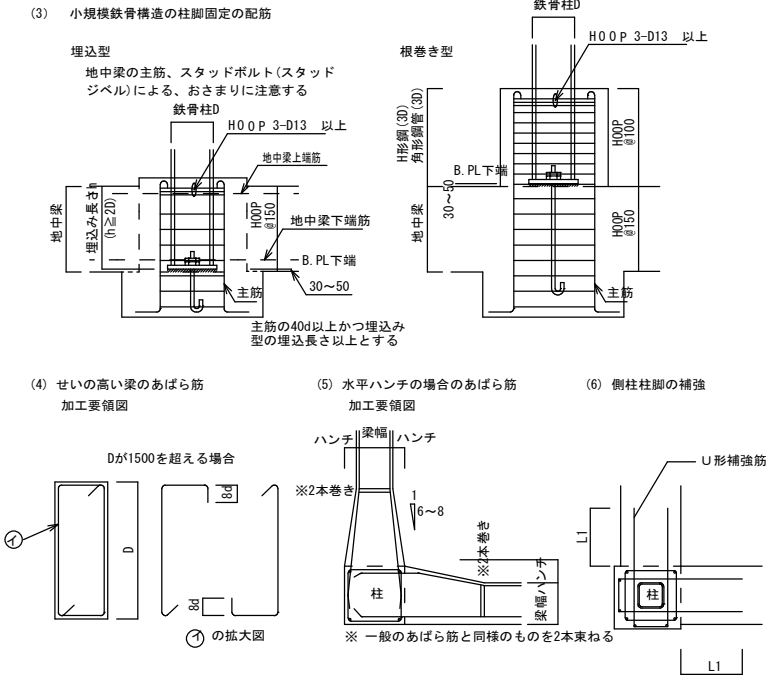
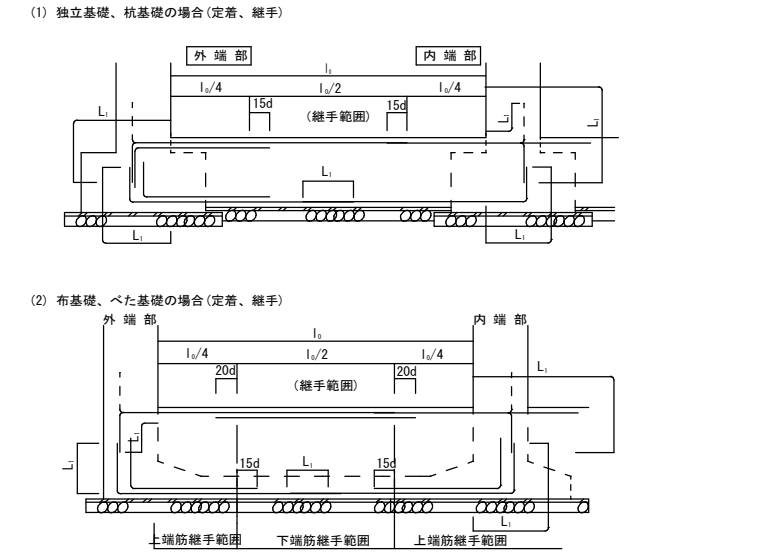
3. 杭（採用する杭種別を明記し、詳細および下記寸法 a～d は設計図書の特記による。）



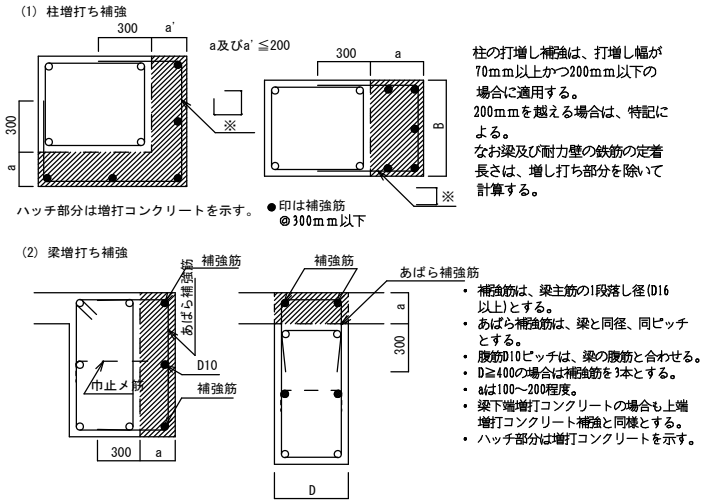
4. 基礎



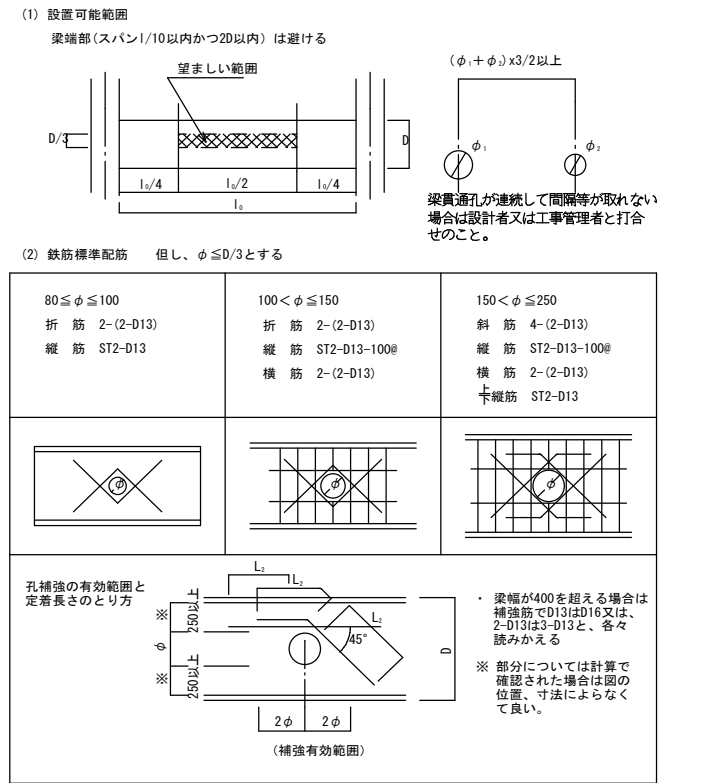
5. 地中梁（梁主筋カットオフ位置は設計図書の特記による。特記のない場合は下図による。）



1. 柱、梁増打コンクリート補強（増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打ち合わせのこと）



1. 2. 梁貫通孔補強



(3) 既製品（使用する場合は、設計者又は工事管理者と打合せのこと）
（既製品の適用範囲を準拠し、承認を得ること）

- リング型 □ バイプ型 □ 金網型 □ プレート型

鉄骨構造標準図（１）

１．一般事項

適用範囲：構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
中小規模の鉄骨造建築物の工事に適用する。
鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする。
住宅瑕疵担保履行法による設計施工基準に準拠する必要がある場合はこれを優先する。

(1) 材料及び検査

- (a) 使用構造材料は構造設計仕様による。
(b) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する。
(c) 社内超音波検査（UT）は、100%とする。

(2) 工作一般

- (a) 鉄骨製作及び施行に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る。
(b) 鉄骨の製作精度
告示1464号による。
JASS6 及び鉄骨精度測定度指針による。
(c) 歪みの矯正は、材質を損なわないように、常温加圧もしくは加熱（点状加熱、線状加熱）で矯正する。
加熱で矯正する場合の温度はJASS6による。

(3) 高力ボルト接合

- (a) 本総めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

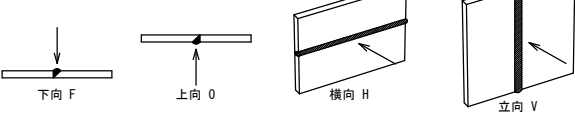
(4) 溶接接合

(a) 溶接技能者

溶接技能者は施工する溶接に適用するJIS Z3801（手溶接）又はJIS Z3841（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引き続き、半年以上溶接に従事している者とする

(b) 溶接姿勢

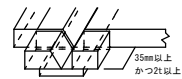
溶接姿勢は、原則下向きとする。
それ以外の姿勢は、条件に応じた有資格者が行う事。



(c) 溶接施工

(i) エンドタブ

- Ⅰ) エンドタブは、固定エンドタブを標準とし、資料を提出して設計者、又は工事監理者の承認を得る。
Ⅱ) 鋼製エンドタブの長さは、半自動溶接では40mm以上かつ、板厚の2倍以上とする。
サブマージアーク自動溶接では、幅70mm以上かつ、板厚の3倍以上、長さ150mm程度とする。
Ⅲ) 鋼製エンドタブを使用して、見え掛りとなる場合は、母材に影響を与えないように母材から5mm程度残してガス切断し、切断面をグラインダーで仕上げる。t 25mm以上かつt以上



(d) 裏あて金

材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする

(ハ) 鋼材種類と溶接材料

鋼材種別による溶接条件

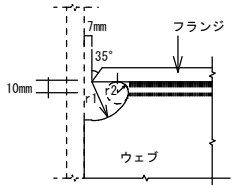
鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	パス温度差 (℃)
400N級鋼	JIS Z 3211、3212、3214	40以下	350以下
	YGW-11、15		
	YGW-18、19		
490N級鋼	YGA-50W、50P	40以下	350以下
	JIS Z 3212、3214		
	YGW-11、15		
490N級鋼	YGA-50W、50P	40以下	350以下
	YGW-18、19		
	YGA-50W、50P		

490N級鋼のSTKR・BCP及びBCRの場合は、YGW-18、19を使用して入熱30KJ/cm以下、パス間温度250℃以下とする。

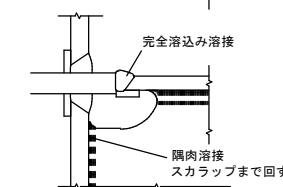
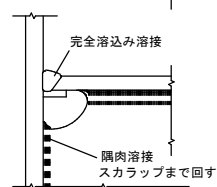
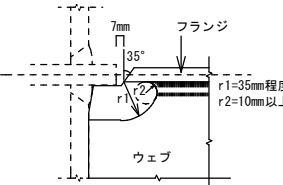
(d) スクラップ加工

(i) 複合円型スクラップ工法

(a) 柱貫通形式の場合



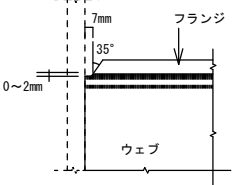
(b) 梁貫通形式の場合



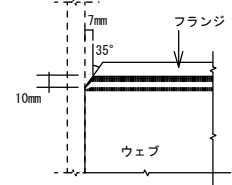
(d) ノンスクラップ工法

(a) 柱貫通形式の場合

①ルート面を取る場合

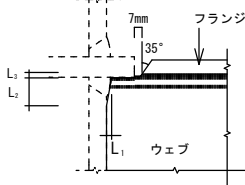


②斜めカットとする場合

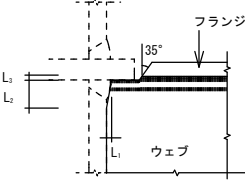


(b) 梁貫通形式の場合

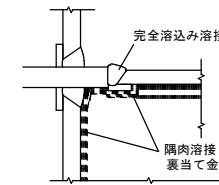
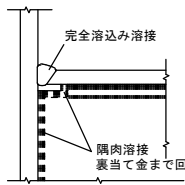
①ルート面を取る場合



②斜めカットとする場合



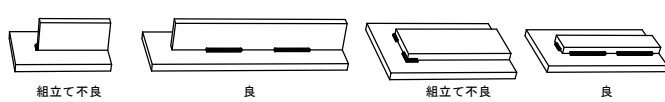
*LおよびLは、接合部パネルと通しダイヤフラムの溶接部と干渉しない寸法とする。
*Lは、通しダイヤフラムと干渉しない寸法とする。



(e) 組立て溶接

(i) 組立て位置

組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける

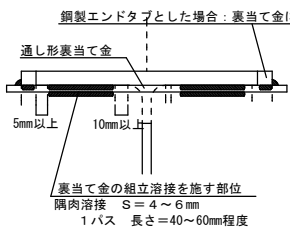


(d) 裏当て金、エンドタブの組立溶接位置

裏当て金を用いた柱梁接合部の裏当て金の組立溶接

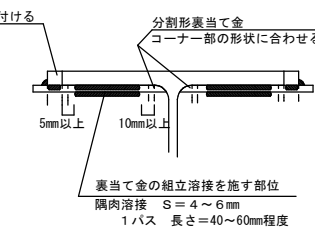
(a) 通し形裏当て金

(複合円型スクラップ工法等)



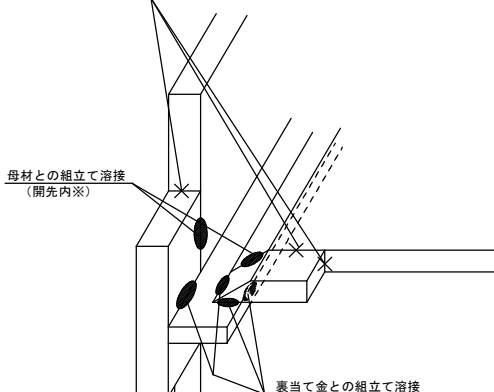
(b) 分割形裏当て金

(ノンスクラップ工法等)



(ハ) 柱梁接合部に鋼製エンドタブを用いた場合の組立て溶接

母材との組立て溶接はしない

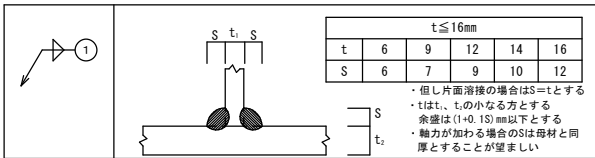


※構造上、開先内に組立て溶接を行わず得ない場合には、本溶接後の品質が充分確保できるような方法で施工しなければならない。（組立て溶接を再溶融させる）

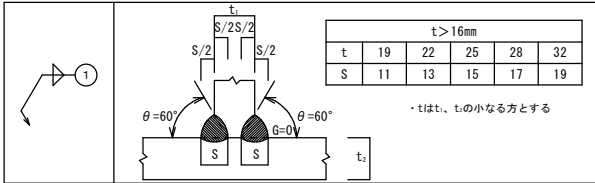
２．溶接標準図

(1) 隅肉溶接

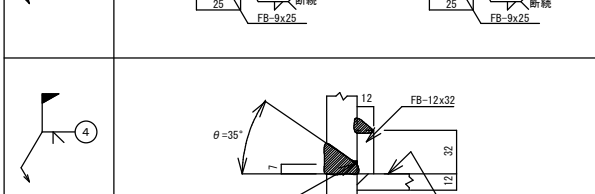
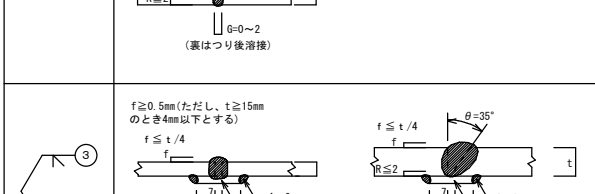
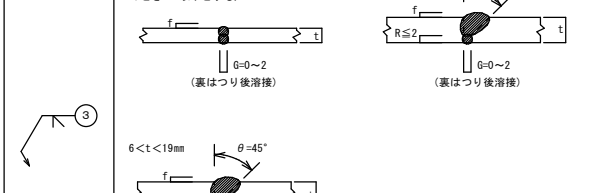
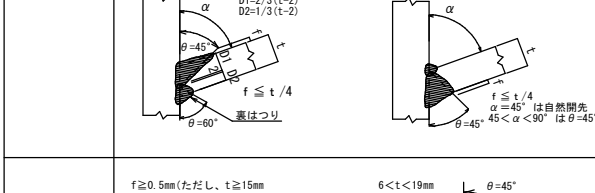
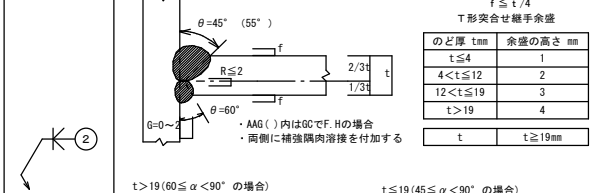
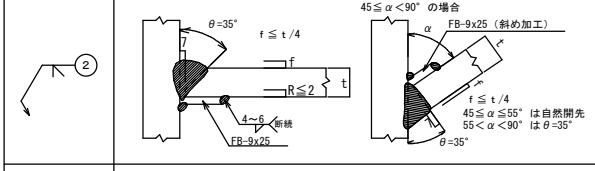
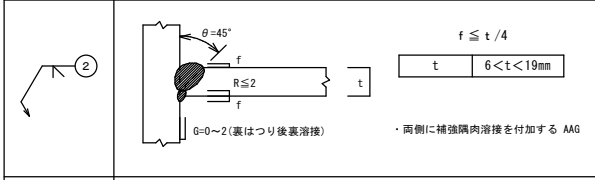
(注) f:余盛 G:ルート間隔 R:フェース S:脚長 (単位 mm)



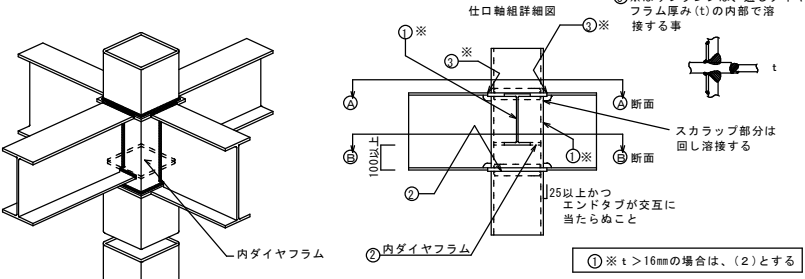
(2) 異型隅肉溶接 (使用箇所に注意)



(3) 完全溶込み溶接 (平継手、T継手)



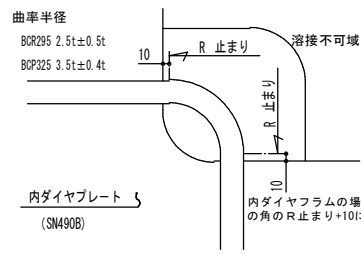
・角形鋼管の場合 (梁貫通形式の場合)



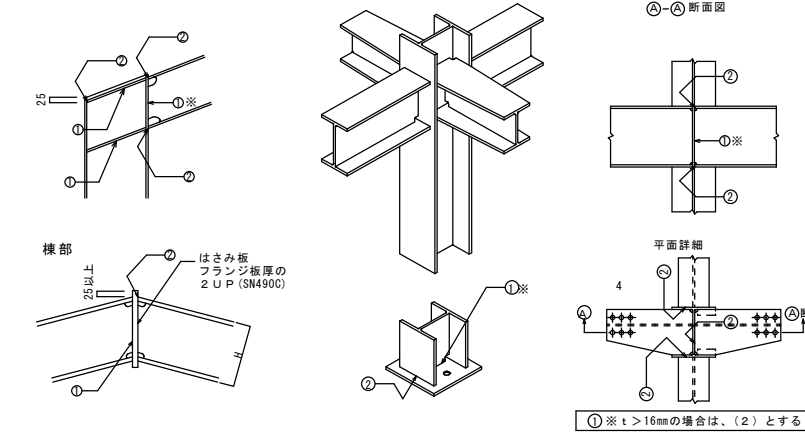
〈柱材料：BCR295、BCP325を使用する場合〉

明記なき通しダイヤフラムは、SN490C、明記なき内ダイヤフラムは、SN490B、の鋼材を使用する事。

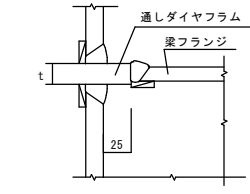
内ダイヤプレート取付け要領図



H形鋼の場合 (柱貫通形式の場合)

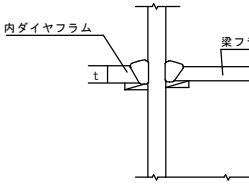


通しダイヤフラム



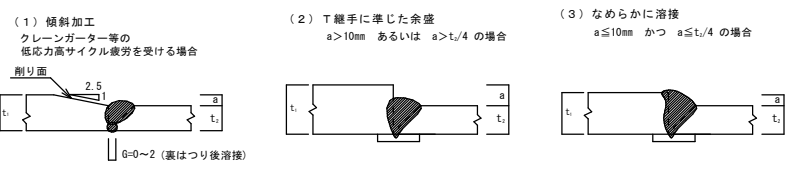
tは取り付く梁フランジの最大厚さの2サイズ(6mm)以上アップ

内ダイヤフラム



tは取り付く梁フランジの最大厚さの1サイズ(3mm)以上アップ

・板厚が異なる突合せ溶接



(株) スギ建築事務所

一級建築士事務所 登録(16)第73号 〒422-8046 静岡県駿河区中島153-2 電話(054)287-4488 FAX(054)287-2992

一級建築士 杉田 晴彦 登録 第251420号

年月日 H30. 4. 訂正 . .

所長 杉田

担当 杉田 製図 杉田

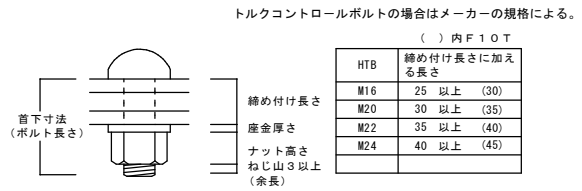
工事名 平成30年度静岡県立こども病院院内保育所建設及び浄化槽更新工事 図面名 鉄骨構造標準図(1) 縮尺 -

全 業の内 S 03

鉄骨構造標準図（２）

３．継手標準図

(1) ボルト接合 H・T・B



○HTBはすべてS10T・F10Tを使用し、スベリ係数は0.45とする。
○ボルト接合面の処理
締め付け摩擦面は母材に於いては平グライNDER掛け、スプライスプレートに於いてはショット掛けを行ない、黒皮を除去し一様に赤さびを生じさせる。
○本締め使用するボルトと仮締めボルトの併用はしてはならない

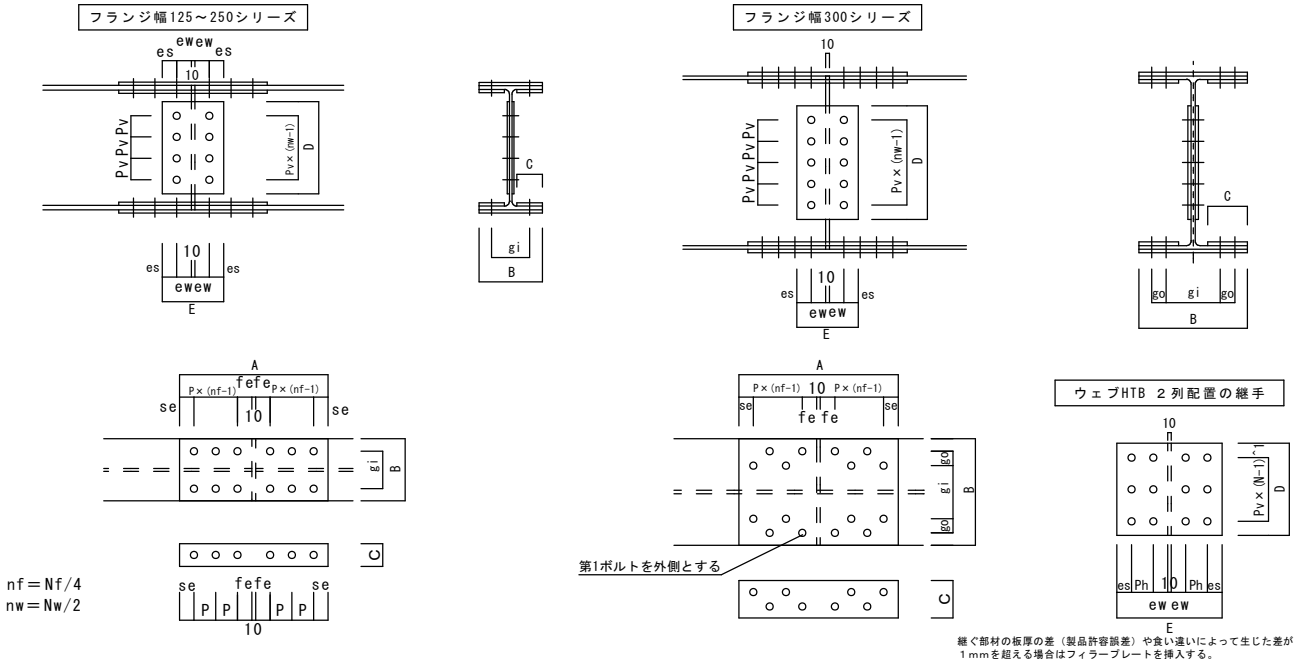
(2) ボルトピッチ(P)、ボルト穴径・最小縁端距離(mm)

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離(e)				ピッチ(P)	
		(1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	最小	標準
M16	18	40	28	22	40	40	60
M20	22	50	34	26	40	50	60
M22	24	55	38	28	40	55	60
M24	26	60	44	32	45	60	70

〔注〕(1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
(2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
(3) 圧延縁・自動ガス切断縁、のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

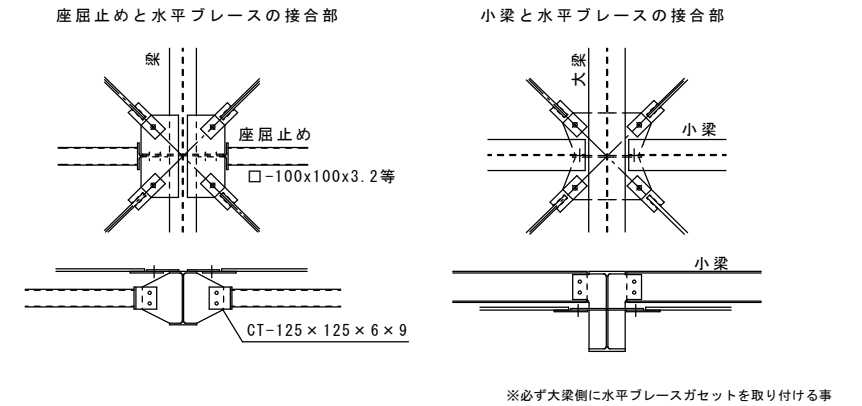
(3) 大梁継手標準図 (S N 4 0 0 B、S S 4 0 0・HTB S 1 0 T / F 1 0 T) ※ 大きな塑性歪みが生じる領域に用いない事

梁サイズ	フランジ HTB							添え板外フランジ				添え板内フランジ				ウェブ HTB				添え板ウェブ				せん断耐力		Mj/Mp		
	数量 Nf	径	P	gi	go	fe	se	数量	厚さ	A	B	数量	厚さ	A	C	数量	径	Pv	Ph	ew	es	数量	厚さ	D	E		終局	短期
			(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)			(mm)	(mm)			(mm)	(mm)			(mm)	(mm)	(mm)	(mm)			(mm)	(mm)			
● H-250×125×6×9	24	M16	60	75		40	40	1	9	410	119	2	9	410	44	8	M16	90	60	70	40	2	9	170	350	568	273	1.25
● H-300×150×6.5×9	24	M16	60	90		40	40	1	9	410	144	2	9	410	54	8	M16	60		70	35	2	6	250	230	633	347	1.22
● H-350×175×7×11	24	M16	60	105		40	40	1	9	410	169	2	9	410	64	12	M16	90	60	40	40	2	6	260	290	1102	502	1.23
● H-400×200×8×13	24	M20	60	124		40	40	1	9	410	194	2	12	410	70	10	M20	60		70	40	2	9	320	230	1514	687	1.23
H-450×200×9×14	24	M20	60	124		40	40	1	12	410	194	2	12	410	70	12	M20	60		70	40	2	9	380	230	1680	832	1.25
● H-500×200×10×16	32	M20	60	124		40	40	1	12	530	194	2	16	530	70	12	M20	60		70	40	2	9	380	230	1512	832	1.20
H-600×200×11×17	32	M20	60	124		40	40	1	16	530	194	2	16	530	70	20	M20	90	60	70	40	2	12	440	350	2464	1325	1.24
H-194×150×6×9	24	M16	60	90		40	40	1	9	410	144	2	9	410	54	4	M16	60		70	40	2	6	140	230	346	138	1.21
● H-244×175×7×11	24	M16	60	105		40	40	1	9	410	169	2	9	410	64	8	M16	60	60	40	40	2	6	140	290	715	310	1.20
● H-294×200×8×12	32	M16	60	124		40	40	1	9	530	194	2	9	530	70	8	M16	90	60	40	40	2	6	170	290	725	314	1.21
● H-340×250×9×14	32	M20	60	174		40	40	1	12	530	244	2	12	530	70	6	M20	60		40	40	2	9	200	170	1044	391	1.21
H-390×300×10×16	32	M20	45	150	40	40	40	1	12	440	294	2	12	440	104	8	M20	60		40	40	2	6	260	170	1364	572	1.20
● H-440×300×11×18	40	M20	45	150	40	40	40	1	12	530	294	2	16	530	104	12	M20	90	60	40	40	2	9	260	290	1793	797	1.21
H-488×300×11×18	40	M20	45	150	40	40	40	1	12	530	294	2	16	530	104	12	M20	120	60	40	40	2	9	320	290	1759	790	1.22
H-588×300×12×20	48	M20	45	150	40	40	40	1	16	620	294	2	16	620	104	16	M20	120	60	40	40	2	12	440	290	2353	1005	1.22
H-700×300×13×24	48	M22	45	150	40	40	40	1	19	620	294	2	19	620	104	24	M22	90	60	40	40	2	12	530	290	4550	2059	1.20
H-800×300×14×26	48	M22	45	150	40	40	40	1	22	620	294	2	22	620	104	24	M22	90	60	70	40	2	16	530	350	3216	1974	1.21
H-900×300×16×28	56	M22	45	150	40	40	40	1	22	710	294	2	25	710	104	32	M22	90	60	70	50	2	12	730	350	5201	2749	1.20
H-150×150×7×10	24	M16	60	90		40	40	1	9	410	144	2	9	410	54	6	M16	60	60	70	40	2	9	80	470	533	241	1.25
H-175×175×7.5×11	24	M16	60	105		40	40	1	9	410	169	2	9	410	64	4	M16	60		70	30	2	6	120	230	381	169	1.25
H-200×200×8×12	24	M16	60	124		40	40	1	9	410	194	2	9	410	70	8	M16	60	60	70	40	2	6	140	350	715	310	1.30
H-250×250×9×14	24	M20	60	174		40	40	1	12	410	244	2	12	410	70	4	M20	60		40	40	2	6	140	170	696	269	1.25
H-300×300×10×15	32	M20	45	150	40	40	40	1	12	440	294	2	12	440	104	8	M20	60	60	40	40	2	12	140	290	1017	456	1.24
H-350×350×12×19	48	M20	45	154	40	40	40	1	12	620	344	2	12	620	150	12	M20	60	60	40	40	2	9	200	290	1830	795	1.29
H-400×400×13×21	96	M22	60	204	40	40	40	1	16	770	394	2	16	770	150	12	M22	90	60	40	50	2	9	280	290	2172	989	1.20



(4) 小 梁 継 手

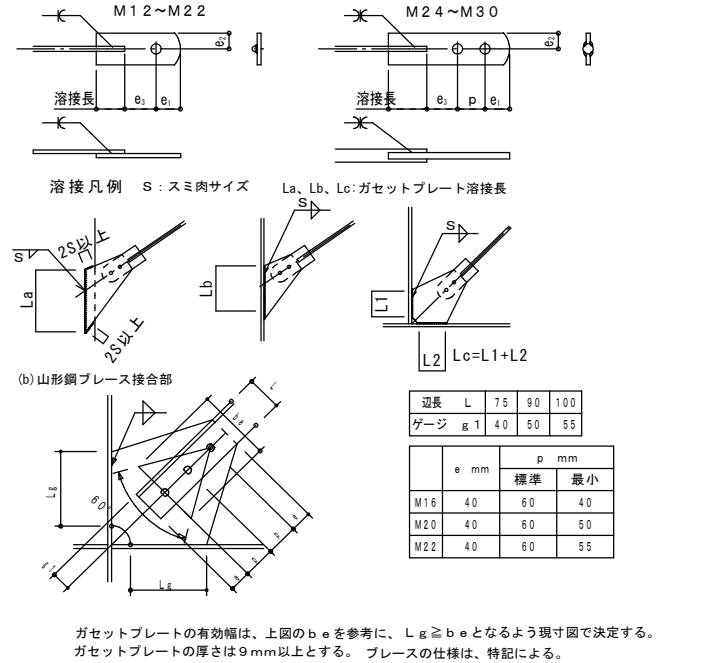
形状	採用	H形鋼サイズ	ガセットプレート	H・T・B
	●	B20 H-200x100x5.5x8	PL-9	(大梁の片側・両側に取付く場合) 4-M16 P1=90 P2=60 (その他の場合) 2-M16 P=60
	●	B25 H-250x125x6 x 9	PL-9	3-M20 P=60
	●	B30 H-300x150x6.5x9	PL-9	4-M20 P1=60 P2=120
	●	B35 H-350x175x7 x11	PL-9	Y1, Y4端 6-M22 P1=60 P2=90 Y2, Y3端 4-M22
	●	H-340x250x9 x14	PL-9	4-M22
		H-400x200x8 x13	PL-9	4-M20
		H-450x200x9 x14	PL-12	5-M20
		H-500x200x10x16	PL-12	6-M20
		H-600x200x11x17 H-588x300x12x20	PL-16	7-M20
	●	C-100x50x20x2.3 2C-100x50x20x2.3	PL-6	中ボルト 2-M12
	●	V10 □-100×100×3.2	PL-9	2-M16 P=60



(5) ブレース接合部

(a) 建築用ターンバックルブレース接合部(JIS A5540)

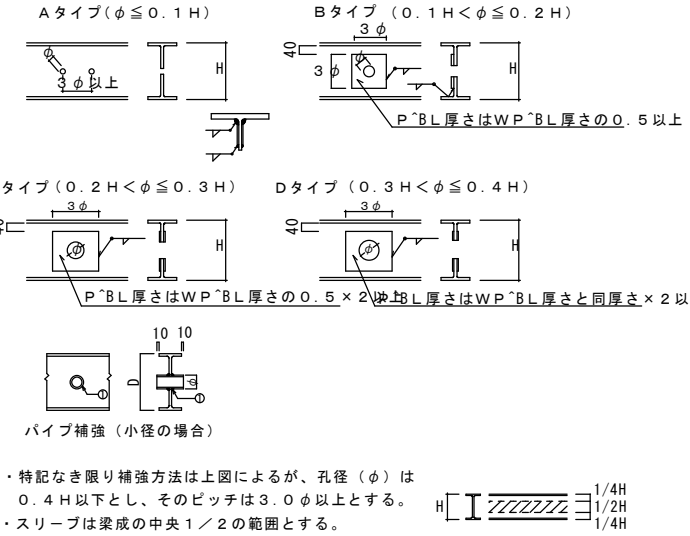
採用	サイズ	e ₁ (mm)	e ₂ (mm)	e ₃ (mm)	溶接長 (mm)	H・T・B (F10T)	ガセットPL (mm)	S (mm)	La (mm)	Lb (mm)	Lc (mm)
	M12	40	25	52	40	1-M16	PL - 6	6	60	42	54
	M14	40	25	52	50	1-M16	PL - 6	6	61	43	55
●	M16	45	25	59	55	1-M16	PL - 9	8	80	56	72
●	M18	50	32.5	66	60	1-M20	PL - 9	8	80	56	72
●	M20	50	32.5	66	75	1-M20	PL - 9	8	97	65	81
	M22	55	37.5	73	85	1-M22	PL - 9	10	100	70	90
	M24	50	38.0	70	85	2-M20	PL - 9	10	112	76	96
	M27	50	45	72	90	2-M20	PL - 9	10	145	93	113
	M30	55	45	83	95	2-M22	PL - 12	10	177	109	129
	M33	55	50	90	110	2-M22	PL - 12	10	177	109	129



４．その他

・ 梁貫通補強

- ・ 位置に関しては事前に設計者、及び工事監理者と打ち合わせのこと
- ・ 計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらずに良い。
- ・ 梁端部（スパンの1/10以内かつ2D以内）は避ける



ジャストベース（J E I 型）柱脚工法設計施工標準図（角形鋼管仕様）

（財）日本建築センターBC J 評定－ST O 1 5 3－0 6（平成2 5 年1 2 月2 0 日付）

●柱材：角形鋼管（F 値235N/mm2）－STKR400,BCP235,SHC400B-C
（F 値295N/mm2）－BCR295
（F 値325N/mm2）－STKR490,BCP325,SHC490B-C
●基礎コンクリート 普通コンクリート（21・24N/mm2）以上
●鉄筋 ： 異形鉄筋 SD295A(D10～D16)
SD345(D19～D25)

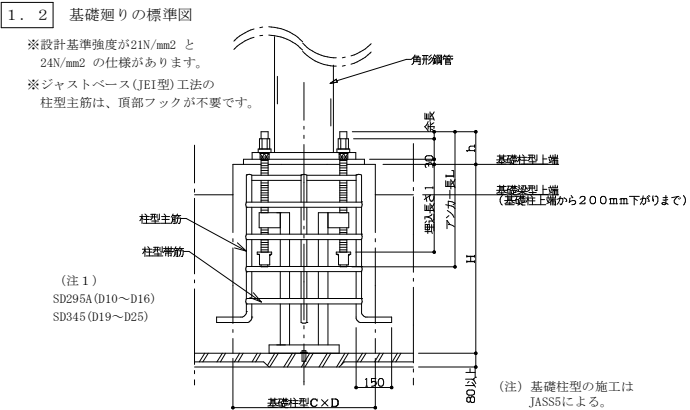
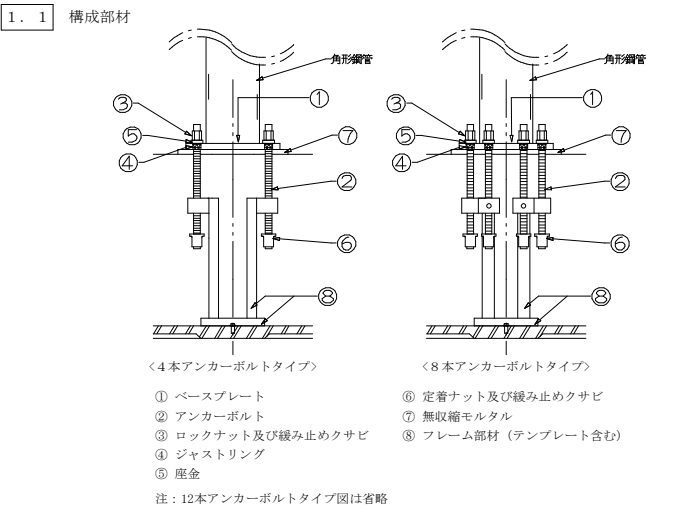
●柱脚の選定 ： 別冊「ジャストベースカタログ」により設計者が選定する。
●柱脚の溶接 ： 別冊「工事製作管理要領書」により鉄骨工場にて溶接施工を行う。
●現場施工 ： 別冊「ジャストベース施工ガイド」によりジャストベース認定施工業者が行う。

資料番号：JB(JEI)-01-06

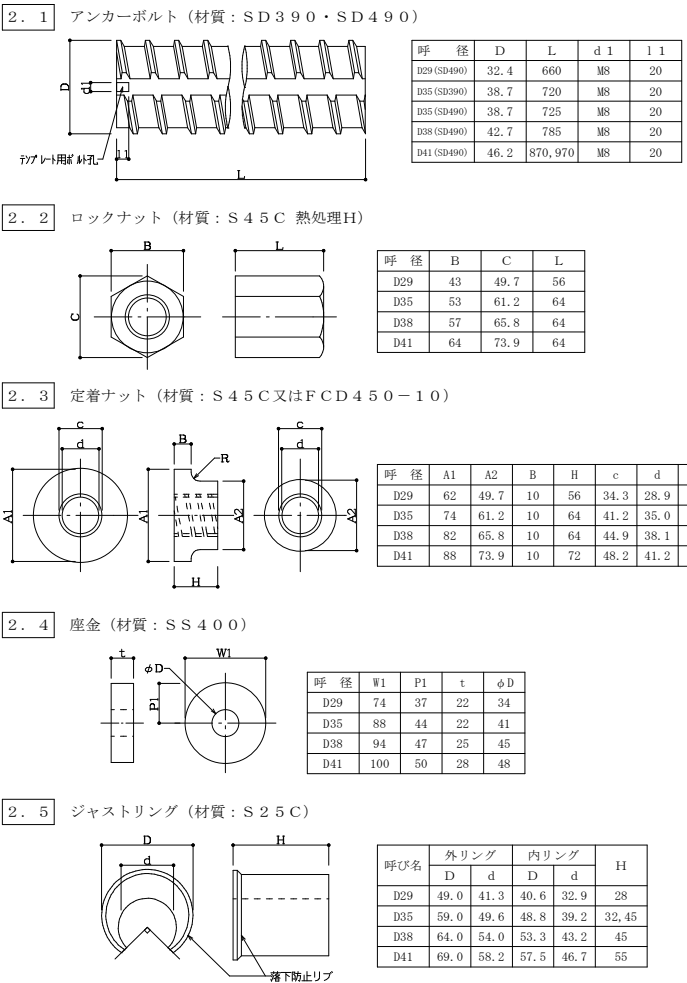
コトブキ技研工業株式会社

広島 TEL 0823-70-0721 FAX 0823-70-0722

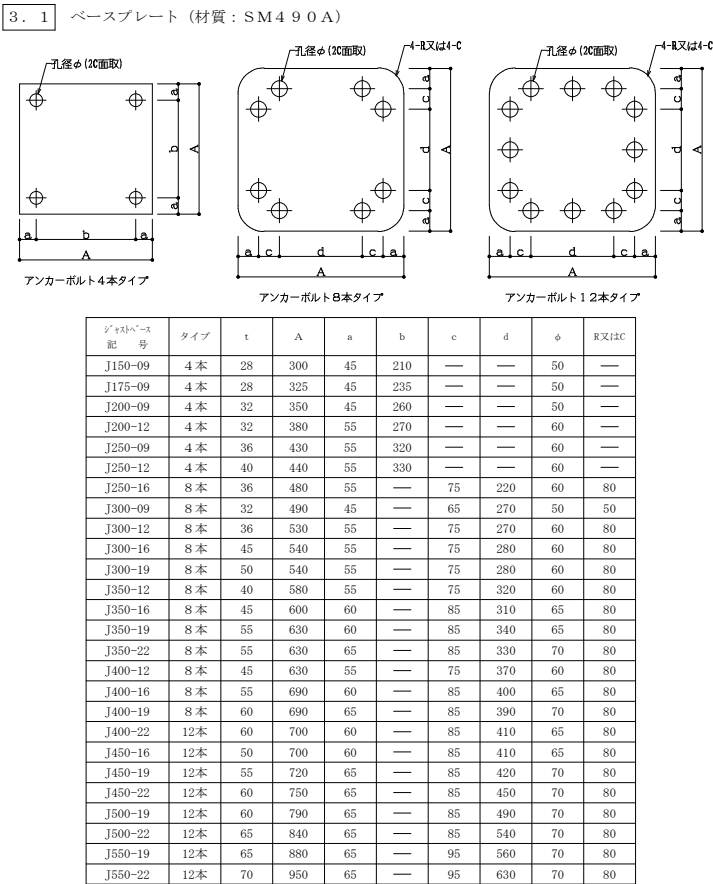
1. 柱脚構成部材及び基礎廻り標準図



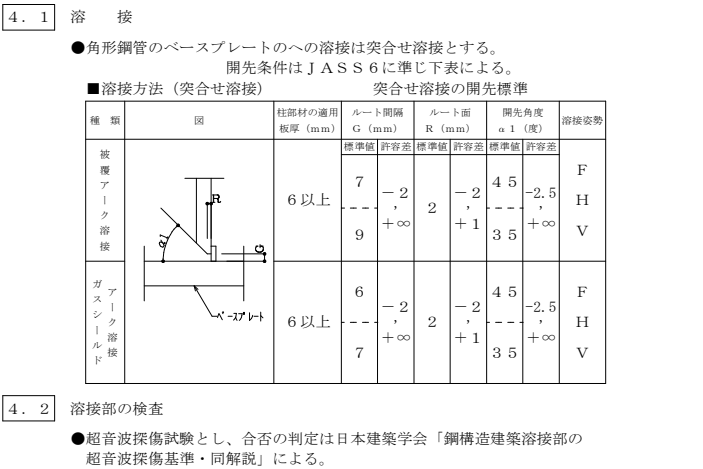
2. アンカーボルト・ロックナット・定着ナット・座金・ジャストリング



3. ベースプレート

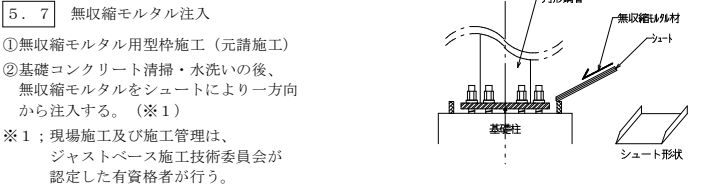
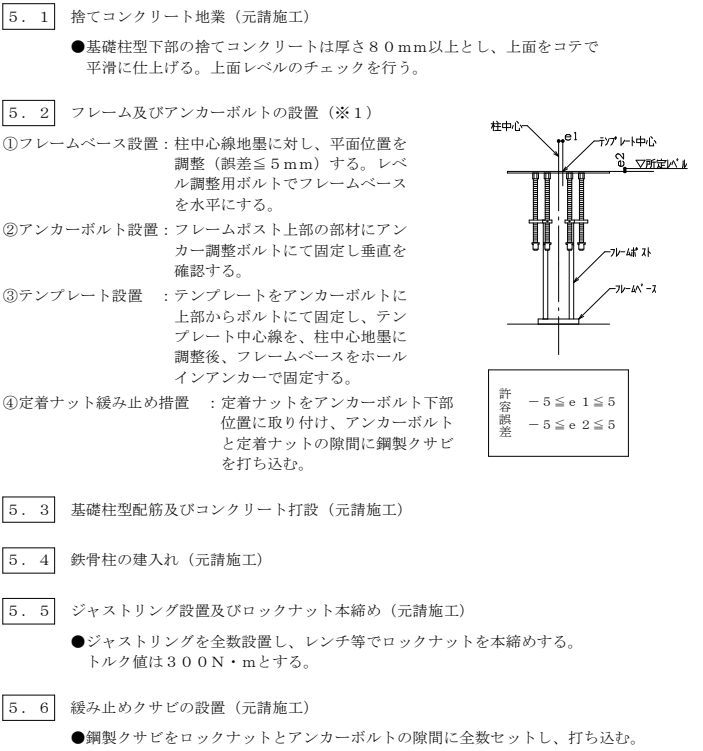


4. 溶接施工

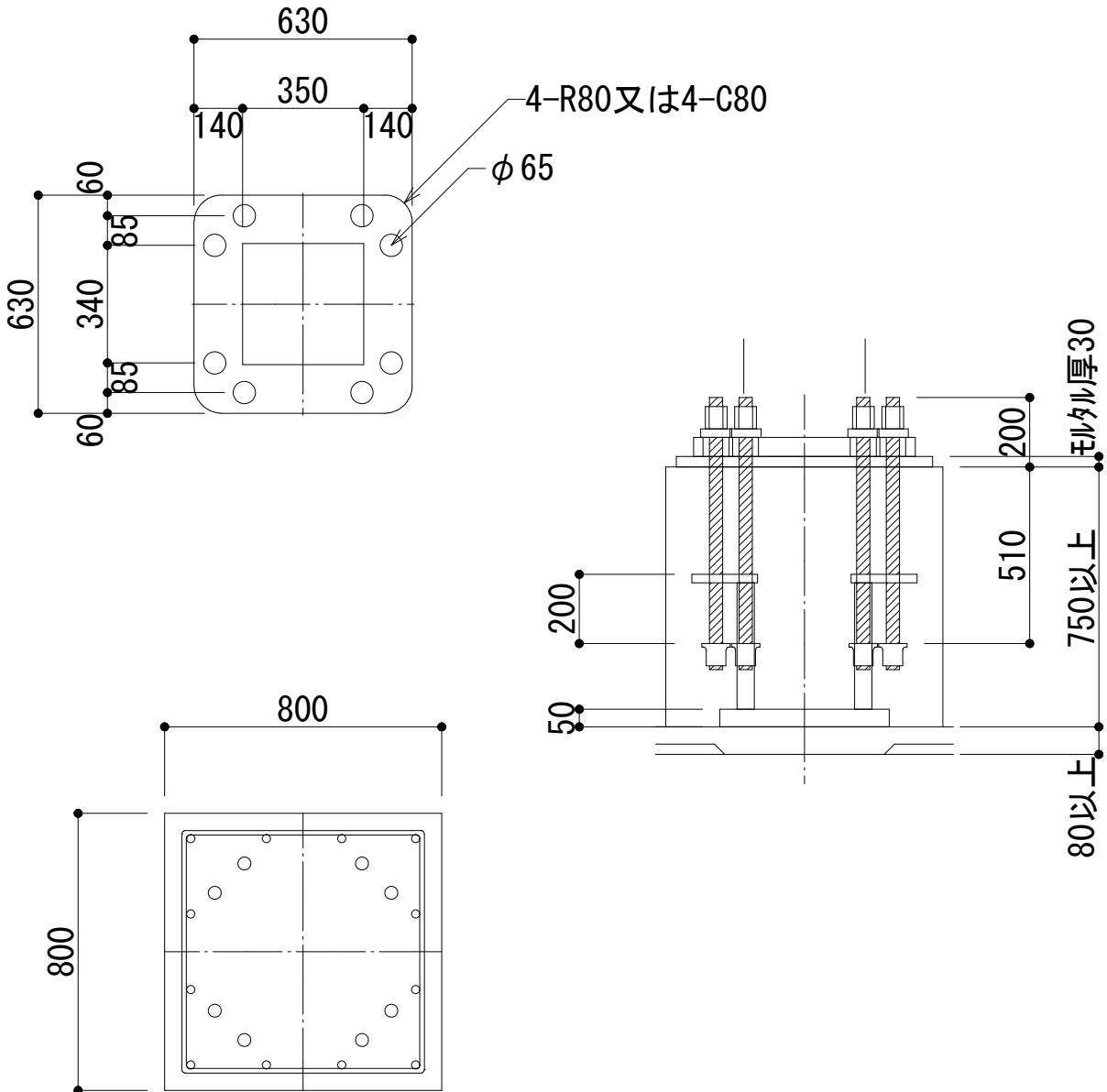
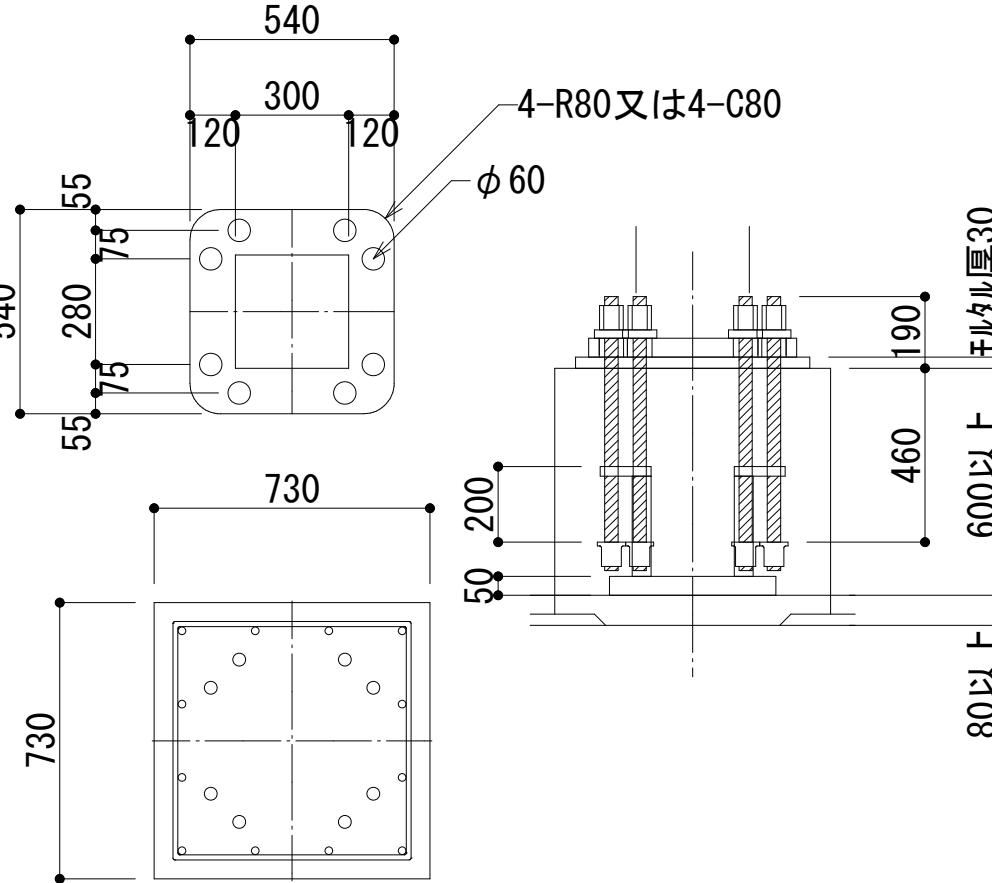


5. 現場施工

特記以外は元請建設会社の施工とする。



ジャストベース (○印)	記 号	適用角形鋼管 (該当するF値 ○印)						※ () 内は、STKRでは不可				柱脚構成部材				R C基礎柱型 (下記の寸法・配筋以上とする)						柱脚回転剛性 kN・m/rad	備 考
		サイズ	F=235N/mm2	○	F=295N/mm2		F=325N/mm2	アンカーボルト		ベースプレート t×A×A	座 金 t×W1	寸法 (mm)		主 筋 (注1)	帯 筋 (注1)	設計基準強度 (N/mm2)							
								n-φ×L	材質			h	C×D				H						
J150-09	150×150	6・9		6・8・9・12		—	4-D29×660	SD490	165	28×300×300	22×74	460×460	550	8-D10	D10 φ150	21	11,000						
J175-09	175×175	6・9		6・8・9・12		—	4-D29×660	SD490	165	28×325×325	22×74	480×480	550	8-D13	D10 φ150	21	14,700						
J200-09	200×200	6・8・9・12		6・8・9		—	4-D29×660	SD490	165	32×350×350	22×74	520×520	600	8-D13	D10 φ150	21	19,800						
J200-12		6・8・9・12		6・8・9・12		6・8・9	4-D35×720	SD390	175	32×380×380	22×88	540×540	600	8-D16	D10 φ150	21	27,800						
J250-09		6・8・9		6・8・9		—	4-D35×720	SD390	175	36×430×430	22×88	620×620	600	8-D16	D13 φ150	21	43,800						
J250-12	250×250	6・8・9・12		6・8・9・12		6・8・9	4-D35×725	SD490	180	40×440×440	22×88	620×620	600	8-D16	D13 φ150	21	47,700						
J250-16	300×300	6・8・9・12・14・16		6・8・9・12・14・16		6・8・9・12	8-D35×720	SD390	175	36×480×480	22×88	630×630	600	12-D19	D13 φ150	21	61,600						
J300-09		6・8・9・(12)		6・8・9		—	8-D29×660	SD490	165	32×490×490	22×74	680×680	600	8-D16	D13 φ150	21	64,700						
J300-12		6・8・9・12・(14)・(16)		6・8・9・12		6・8・9	8-D35×720	SD390	175	36×530×530	22×88	700×700	600	8-D19	D13 φ150	21	89,600						
J300-16		6・8・9・12・14・16・19		6・8・9・12・14・16		6・8・9・12	8-D35×720	SD390	185	45×540×540	22×88	730×730	600	8-D22	D13 φ150	21	96,500						
○ J300-19		6・8・9・12・14・16・19		6・8・9・12・14・16・(19)		6・8・9・12・14・(16)	8-D35×725	SD490	190	50×540×540	22×88	730×730	600	12-D22	D13 φ150	21	102,000						
J350-12	350×350	9・12・(14)・(16)		9・12		9	8-D35×720	SD390	185	40×580×580	22×88	780×780	700	12-D22	D13 φ100×212 D16 φ150	21	125,000						
J350-16		9・12・14・16・19・(22)		9・12・14・16		9・12	8-D38×785	SD490	200	45×600×600	25×94	800×800	750	12-D25	D13 φ100×212 D16 φ150	21	149,000						
○ J350-19		9・12・14・16・19・22		9・12・14・16・(19)		9・12・14・(16)	8-D38×785	SD490	200	55×630×630	25×94	800×800	750	12-D25	D13 φ100×212 D16 φ150	21	165,000						
J350-22		9・12・14・16・19・22		9・12・14・16・19・22		9・12・14・16・(19)	8-D41×870	SD490	205	55×630×630	28×100	800×800	800	20-D22	D13 φ100×212 D16 φ150	21	170,000						
J400-12		9・12		9・12		9	8-D35×725	SD490	190	45×630×630	22×88	850×850	800	12-D22	D13 φ100×212 D16 φ150	21	177,000						
J400-16	400×400	9・12・14・16・19		9・12・14・16		9・12	8-D38×785	SD490	200	55×690×690	25×94	870×870	800	12-D25	D13 φ100×212 D16 φ150	21	218,000						
J400-19		9・12・14・16・19・22・(25)		9・12・14・16・19		9・12・(14)・(16)	8-D41×870	SD490	205	60×690×690	28×100	900×900	800	12-D22	D13 φ100×212 D16 φ150	21	232,000						
J400-22		9・12・14・16・19・22・25		9・12・14・16・19・22		9・12・14・16・(19)	12-D38×785	SD490	200	60×700×700	25×94	900×900	800	16-D25	D13 φ100×212 D16 φ150	21	258,000						
J450-16		9・12・14・16・19		9・12・14・16		9・12	12-D38×785	SD490	200	50×700×700	25×94	940×940	800	16-D22	D13 φ100×212 D16 φ150	21	296,000						
J450-19		450×450	9・12・14・16・19・22・(25)		9・12・14・16・19		9・12・(14)・(16)	12-D41×870	SD490	205	55×720×720	28×100	940×940	800	16-D25	D13 φ100×212 D16 φ150	21	319,000					
J450-22	500×500	9・12・14・16・19・22・25		9・12・14・16・19・22		9・12・14・16・(19)	12-D41×870	SD490	205	60×750×750	28×100	980×980	800	20-D25	D13 φ100×212 D16 φ150	21	339,000						
J500-19		9・12・14・16・19・22・(25)		9・12・14・16・19		9・12・14・16	12-D41×870	SD490	205	60×790×790	28×100	1,020×1,020	800	20-D25	D13 φ100×212 D16 φ150	21	422,000						
J500-22		9・12・14・16・19・22・25		9・12・14・16・19・22		9・12・14・16・(19)	12-D41×970	SD490	215	65×840×840	28×100	1,050×1,050	850	24-D25	D16 φ100	21	427,000						
J550-19		550×550	9・12・14・16・19・22・(25)		9・12・14・16・19		9・12・(14)・(16)	12-D41×970	SD490	215	65×880×880	28×100	1,100×1,100	850	24-D25	D16 φ100	24	537,000					
J550-22			9・12・14・16・19・22・25		9・12・14・16・19・22		9・12・14・16・(19)	12-D41×970	SD490	215	70×950×950	28×100	1,150×1,150	850	24-D25	D16 φ100	24	557,000					

ジャストベース J350-19			4ヶ所	ジャストベース J300-19			8ヶ所
							
柱 材 F 値	235 N/mm ²	□-350×350×9・12・14・16・19・22		柱 材 F 値	235 N/mm ²	□-300×300×6・8・9・12・14・16・19	
	295 N/mm ²	□-350×350×9・12・14・16・19			295 N/mm ²	□-300×300×6・8・9・12・14・16・19	
	325 N/mm ²	□-350×350×9・12・14・(16)			325 N/mm ²	□-300×300×6・8・9・12・14・(16)	
ベースプレート		630×630×55 (490N)	()内STKRは採用不可	ベースプレート		540×540×50 (490N)	
アンカーボルト		8-D38 (SD490) L=785		アンカーボルト		8-D35 (SD490) L=725	
柱 型	B×D	800×800		柱 型	B×D	730×730	
	主筋	12-D25 (SD345)			主筋	12-D22 (SD345)	
	帯筋	D13@100 (SD295A) 又は D16@150 (SD295A)			帯筋	D13@150 (SD295A)	

4-1. 溶接金網又は異形鉄筋の納り(共通)

＜溶接金網＞

重ね代寸法（溶接金網の横筋間の寸法）
(150mm以上)

30mm

溶接金網

200mm以上

コンクリート

スーパーエデッキ

横筋

寸法はφ6-150x150を示す
又は()内寸法はφ6-100x100を示す

＜異形鉄筋＞

重ね代45d以上

30mm

異形鉄筋 D10φ200以下

スーパーエデッキ

4-2. 標準納まり:S造(鉄骨造)の場合

(1) 建物外周部デッキスパン方向	(2) 建物外周部デッキスパン方向	(3) 建物外周部デッキ幅方向

(4) デッキスパン方向（建物内部の大梁、小梁上）

(5) デッキ幅方向デッキ連続

(6) デッキ幅方向デッキ振り分け

(7) 柱廻り

(10) 耐火補強筋の納まり (FP120FL-9114, FP060FL-9102)

※ 左右のスパン比は原則同等とするが、最大3:2までとする。

<FP120FL-9114又はFP060FL-9102（単続支持）耐火補強筋タイプ>

3. 施工

① 割付け計画
工法・工程・割付け計画をたてる。(図1)

② 搬入・保管・揚重・仮置・墨出し
(a) 揚重は2点吊りとし、デッキプレートを用意で傷つけないようにする。
(b) 梁上を清掃し、所定の位置に墨出しをする。



③ 敷込み・仮止め
(a) デッキ相互をカン合させながら敷込む。
(組合部で幅調整をしてはならない。)
(b) 幅方向の調整は、幅調整板(フラッシング)を用いる。
(c) デッキプレートと大梁との接合ができるように、デッキプレート山部が梁上にこないように納める。

④ デッキプレートと梁との接合
(a) 敷込み完了後風等では飛ばないように、デッキと梁とをアークスポット溶接等で接合する。
(b) 頭付きスタッドの施工は JASS6 による。
(c) 焼直し栓溶接の施工位置は特記による。特に指定がない場合には、図3の要領で行う。
(d) 施工者は焼直し栓溶接講習会を受講した方が望ましい。
(e) 発射打込みの施工は発射打込みびようメーカーの施工要領による。施工位置は特記による。

※ 焼直し認定を受けた発射打込みびようメーカー：日本ルティ(株)、日本パワーファーム(株)

(図1) コンクリート打設時支持スパンのとり方
※Sの場合、耐火認定上のスパンは梁芯間距離とする。

(図2)

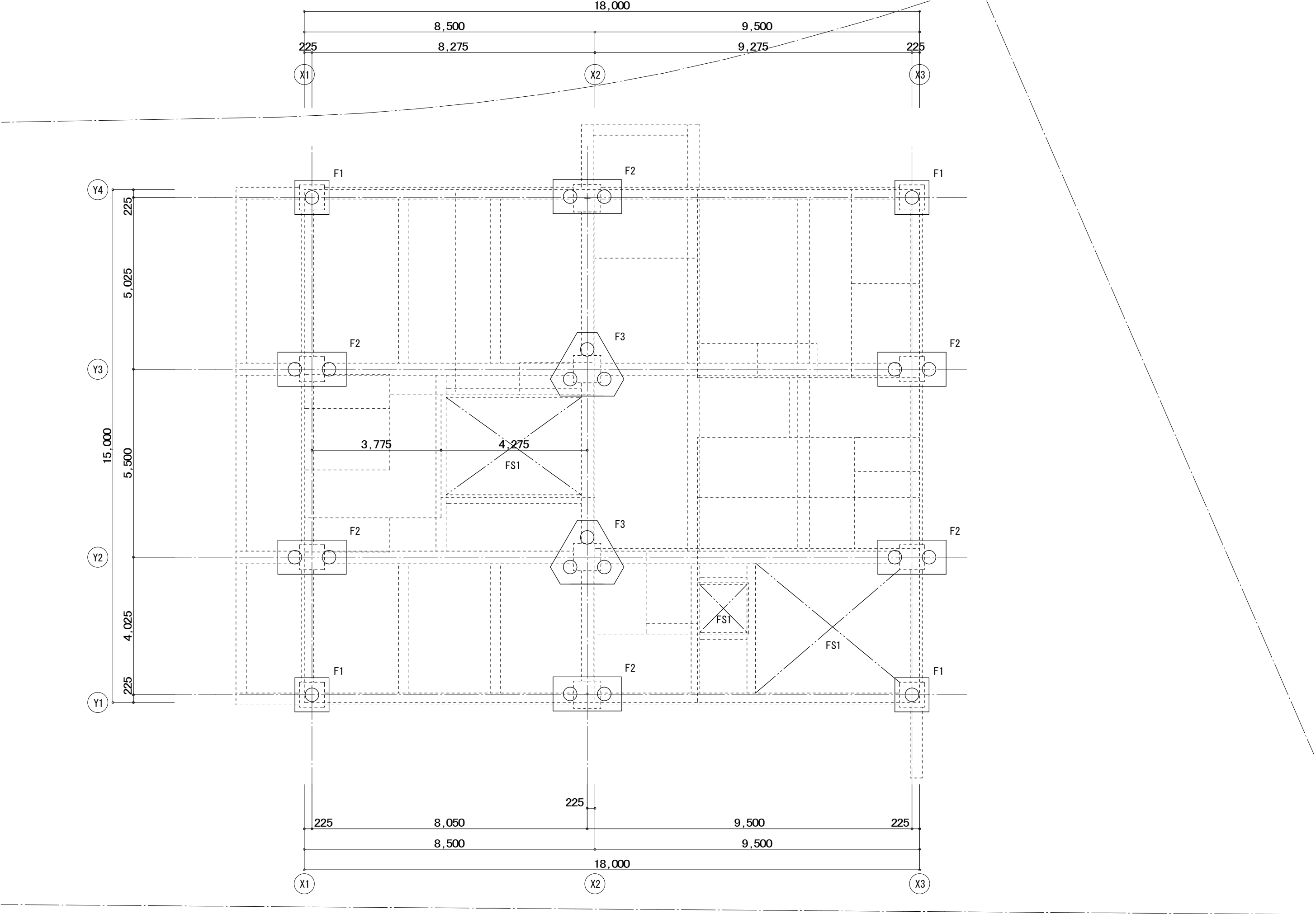
<input checked="" type="checkbox"/> デッキプレート幅方向 特記は括弧内に記す。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> (大梁) 接合部2箇所 <input type="checkbox"/> 1箇所 </div> <div style="text-align: center;"> 中間1箇所 <input type="checkbox"/> 1箇所 </div> <div style="text-align: center;"> 接合部2箇所 <input type="checkbox"/> 1箇所 </div> </div> 	<input checked="" type="checkbox"/> デッキプレートスパン方向 溶接ピッチ (P) 溶接ピッチ (P) : 特記無き限り600mm以下とする。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 1; padding-left: 20px;"> <input type="checkbox"/> (特記) 3mm、下式による。 $P = \text{MIN} \left(600, \frac{P_1}{4} \right)$ $P_1 = q \div Q_m \times 1000$ <p>q : 1箇所当りの短絡せん断耐力 Q_m : 1m当りの設計水平せん断力</p> </div> </div>
---	--

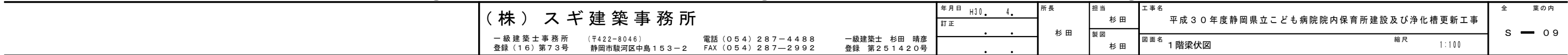
(f) 焼抜き栓溶接 (SPW) の溶接条件及び溶接機器仕様		(g) 焼抜き栓溶接 1箇所当たり短期せん断耐力 (単位: N)		
項目	溶接方法	デッキ板厚	1.2mm	1.6mm
溶接作業者資格	JIS Z 3801基本級以上又は JIS Z 3841基本級以上	SPW	7,350	11,025
溶接棒及び溶接材料	低水素系溶接棒 φ4mm	(h) 発射打込みびょうう 1箇所当たり短期せん断耐力 (単位: N)		
溶接機	交流アーク溶接機AW250A以上 又はエンジン溶接機230A以上			
標準 溶接	デッキ板厚 (mm)	デッキ板厚	1.2mm	1.6mm
溶接 条件	梁フランジ壁厚 (mm)	打込みびょうう	4,000	5,300
溶接 電流 (A)	6 以上			
溶接 電圧 (V)	190~230			
アー クタイム (Sec)	—			
溶接 径 (mm)	8~12			
	18 以上			

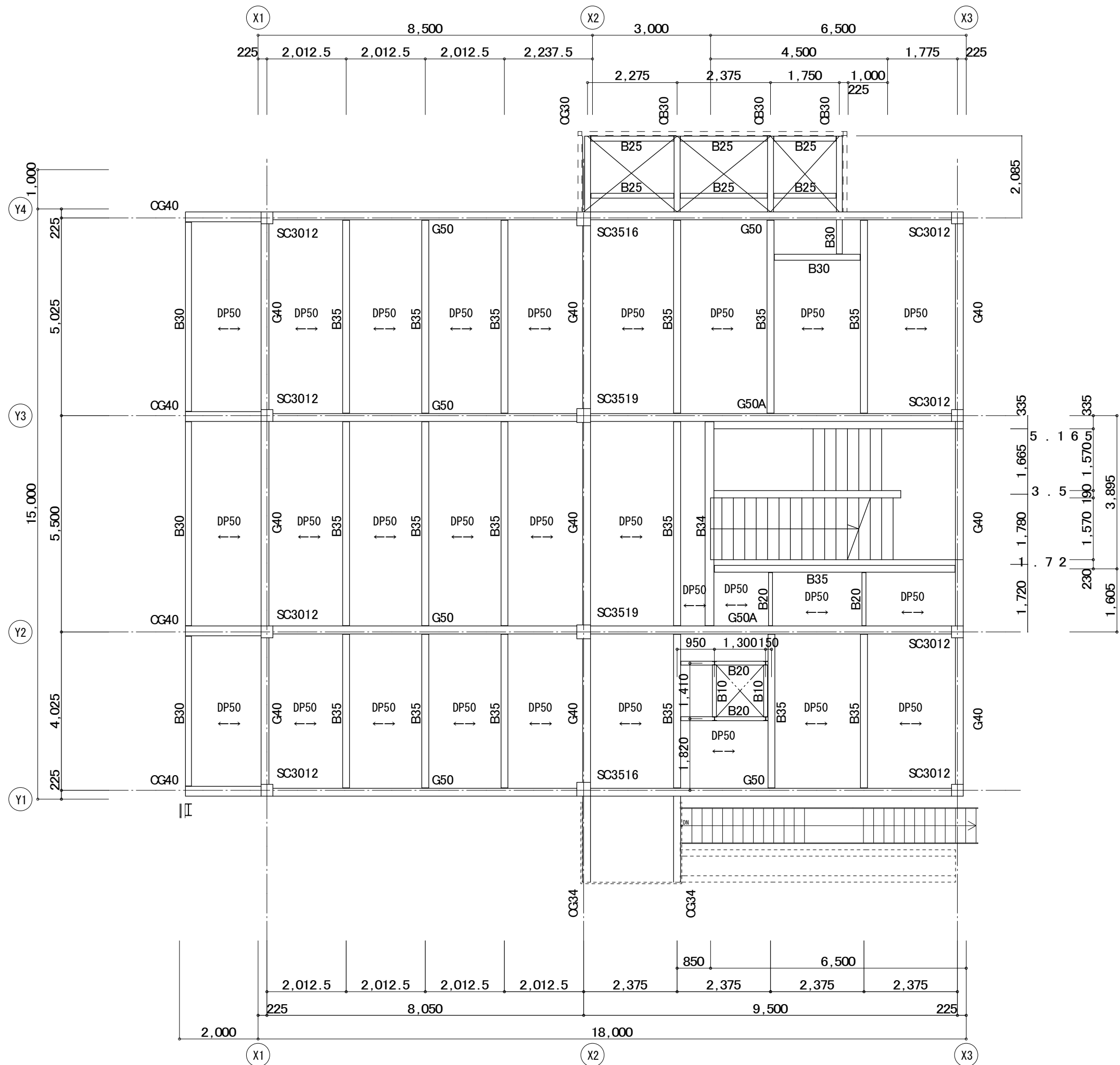
- ⑤ 小口ふさぎ・コンクリート止め
小口ふさぎはデッキプレートの溝をふさがない独立したものを使用する。(図4)
- ⑥ 開口部補強
開口部まわりは必ず鉄筋等で補強する。(5.開口部補強を参照。)
- ⑦ 溶接金網又は異形鉄筋
(a) 規定のサイズを床全面に配筋する。(図5)
(b) かぶり厚さを確保するスプーサーを1m以内に設置する。
(c) 溶接金網の継手は1メッシュ(50mm)以上重ねる(図6)
(d) 異形鉄筋の継手はJ A S S 5による。
- ⑧ コンクリート打設
(a) コンクリート打設前にデッキプレート面を充分清掃する。
(b) 単位水量の少ない、スランプの小さいコンクリートを入念に打設する。
- ⑨ 養生
(a) コンクリートの初期乾燥収縮を防ぐ為、湿潤養生する。
(b) コンクリートの強度がでるまでは、床面に重量物を置いたり振動を与えたりしない。

デッキプレート形状・寸法		システム部品	
<p>EZ50</p>	<p>EZ75</p>	<p>SEF</p>	<p>SEK* - ガー</p>
		<p>SE* - ガー</p>	<p>SEF* - ガー</p>

全葉の内
S — 07







(株) スギ建築事務所

一級建築士事務所 (〒422-8046) 電話 (054) 287-4488 一級建築士 杉田 晴彦
登録 (16) 第73号 静岡市駿河区中島153-2 FAX (054) 287-2992 登録 第251420号

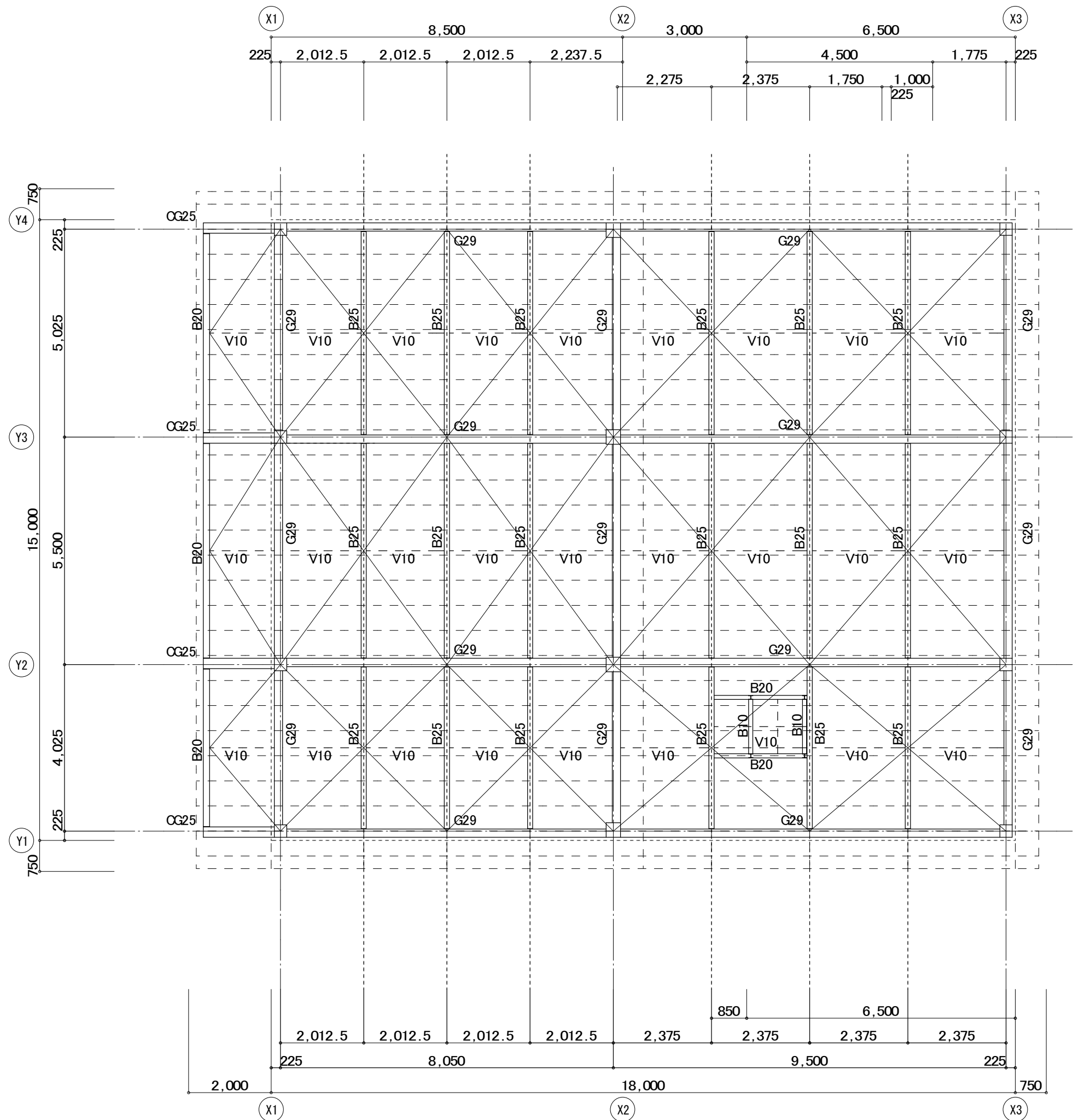
年月日 H30. 4.
訂正 . .
. .

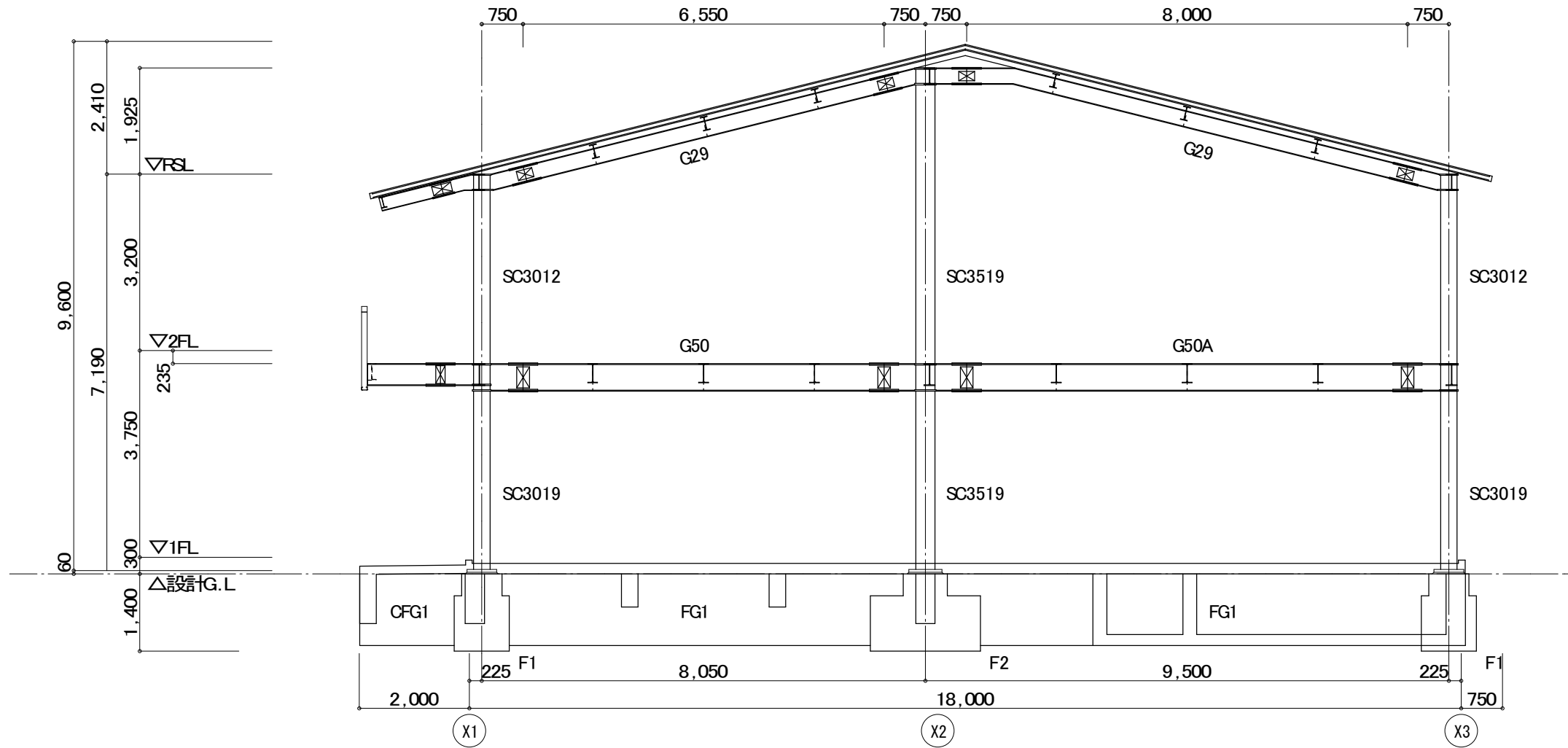
所長
杉田

担当
杉田
製図
杉田

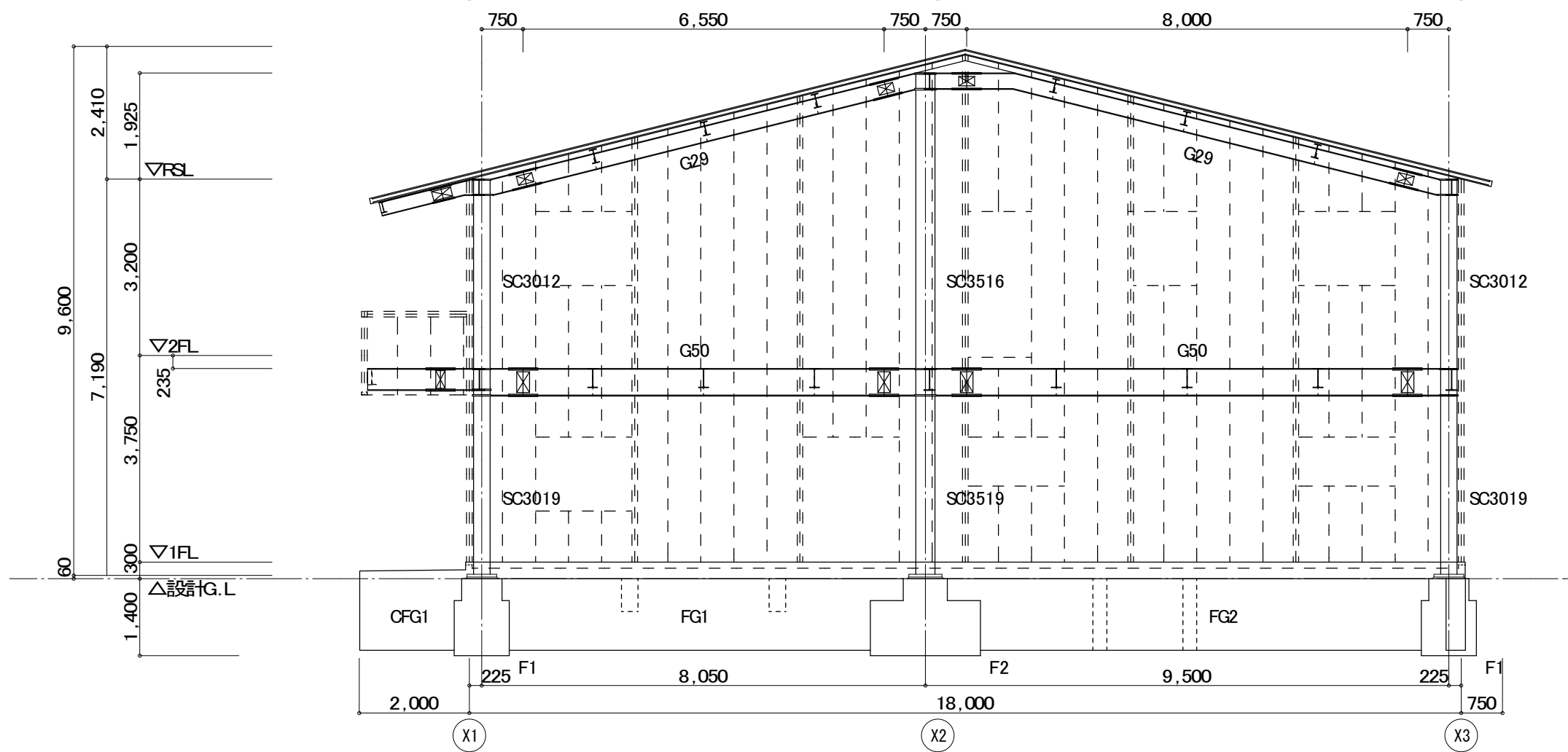
工事名 平成30年度静岡県立こども病院院内保育所建設及び浄化槽更新工事
図面名 2階梁伏図 縮尺 1:100

全 業の内
S 10

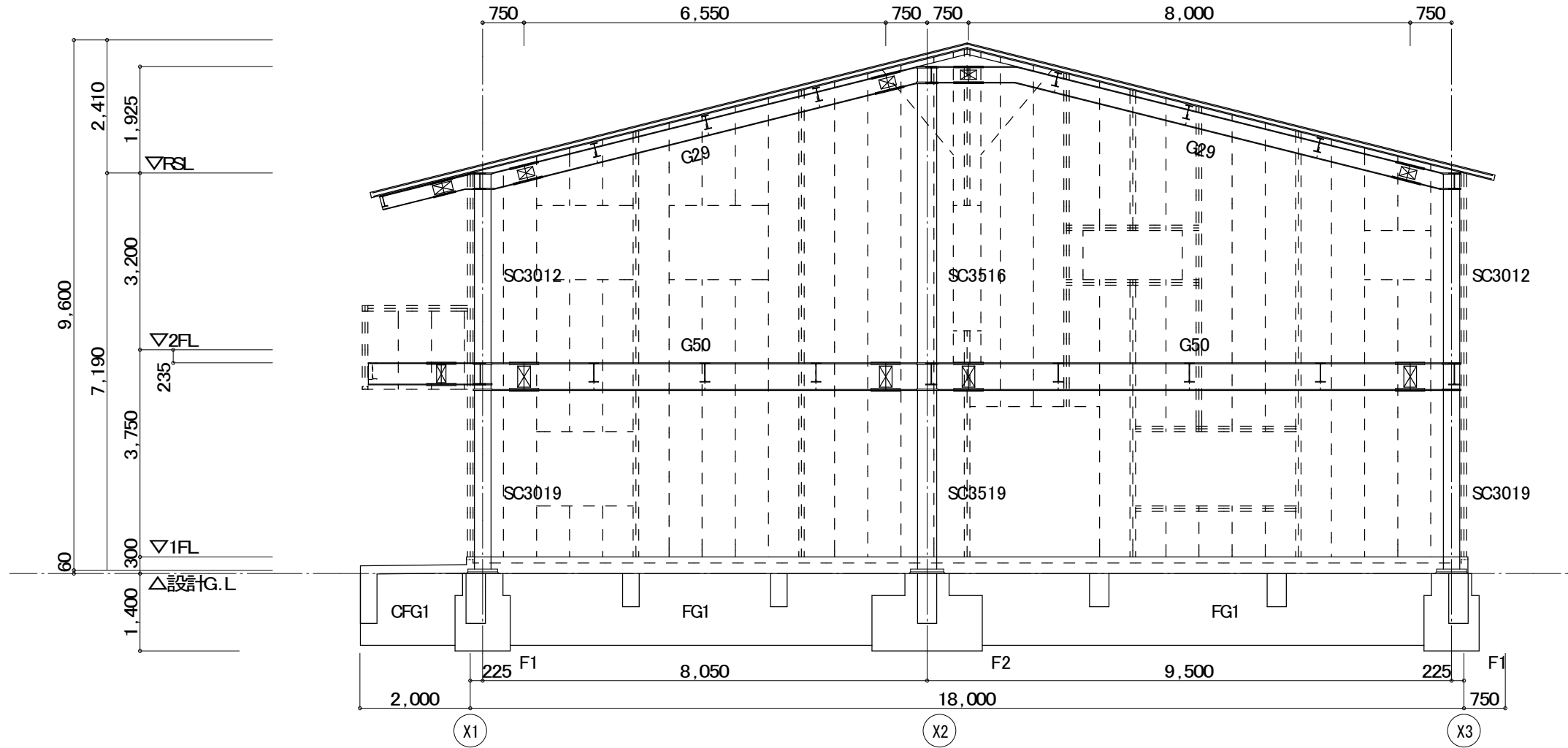




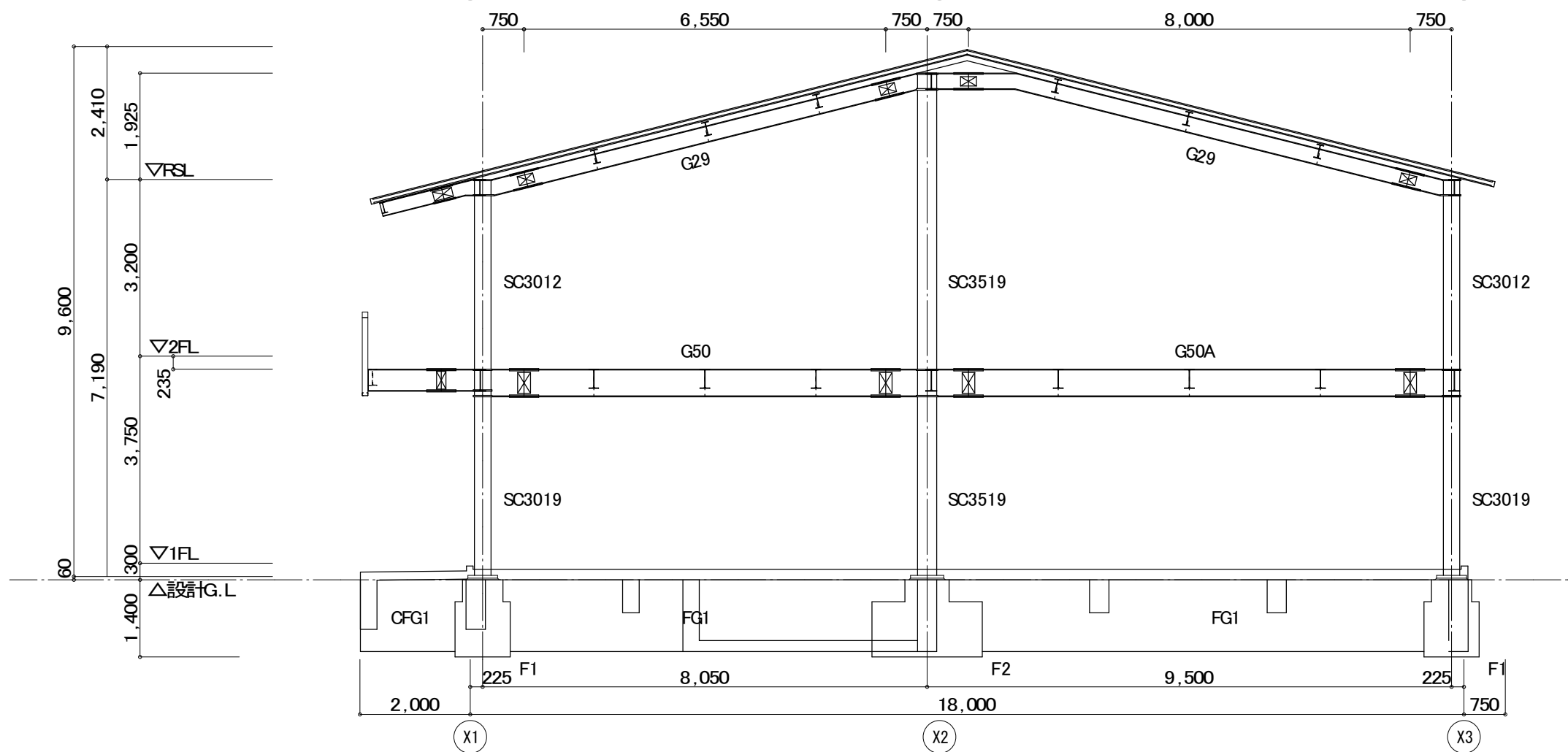
Y 2 通り軸組図



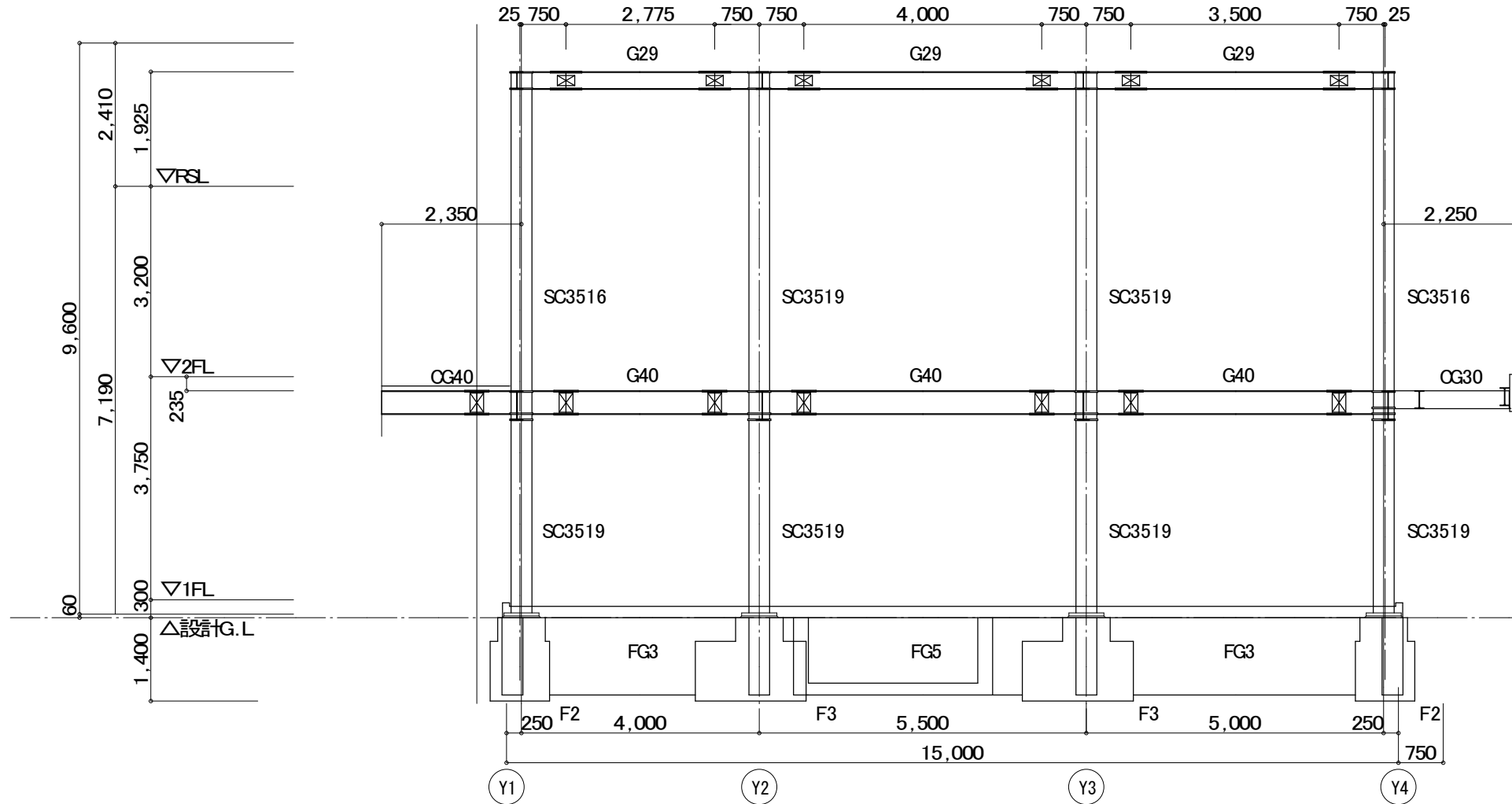
Y 1 通り軸組図



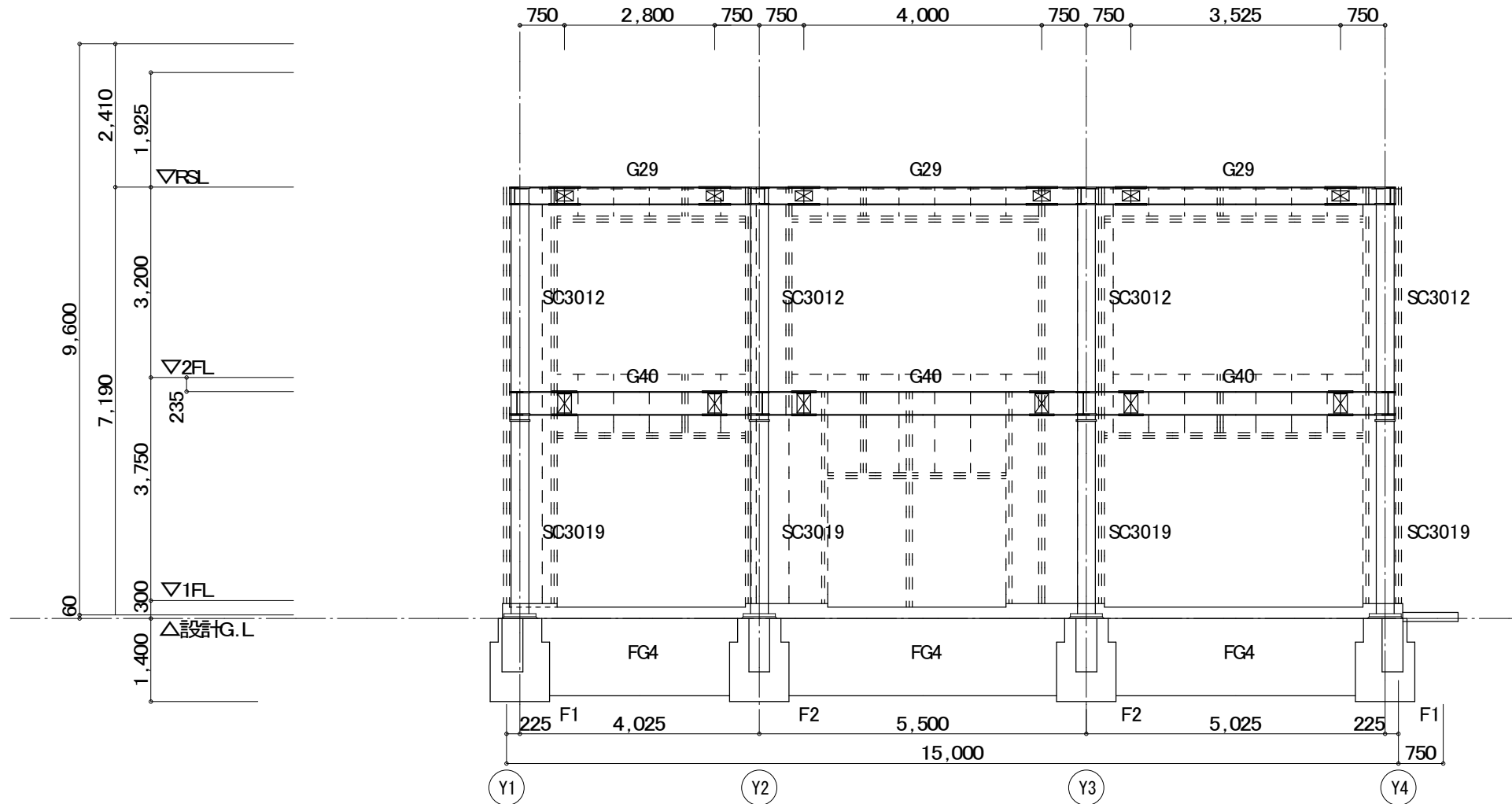
Y 4 通り軸組図



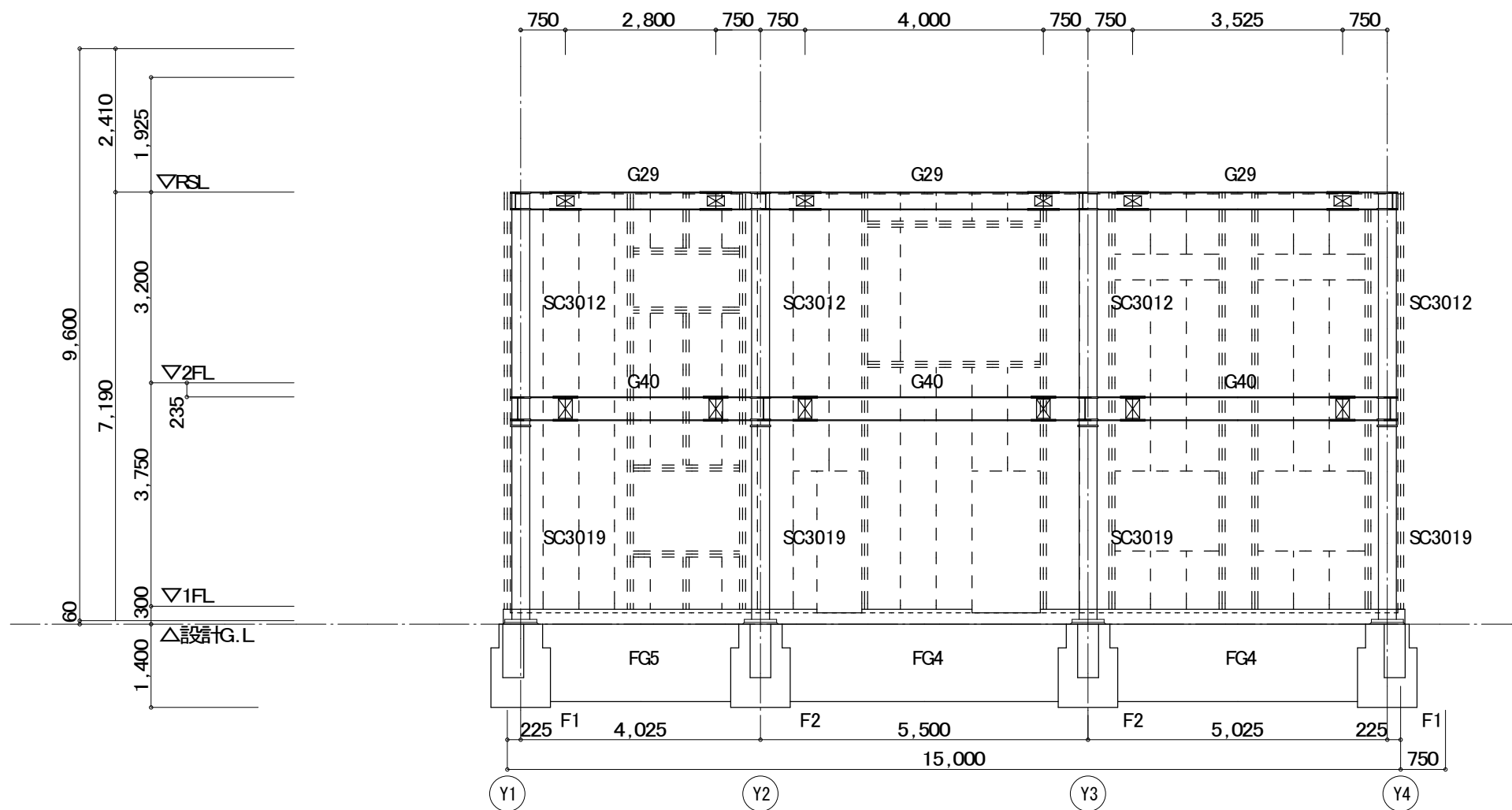
Y 3 通り軸組図



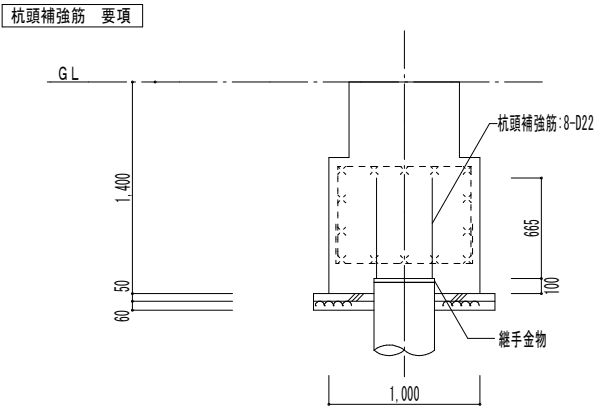
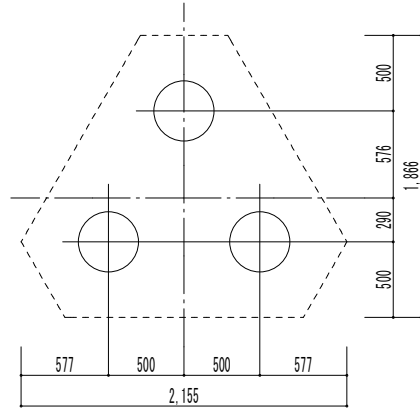
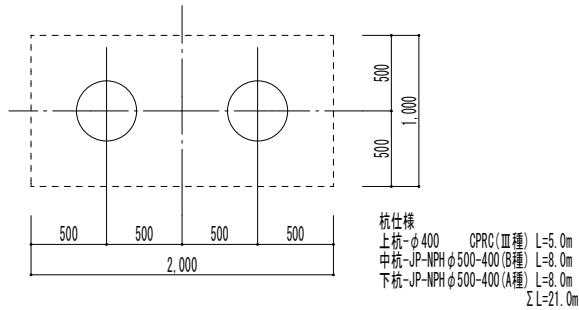
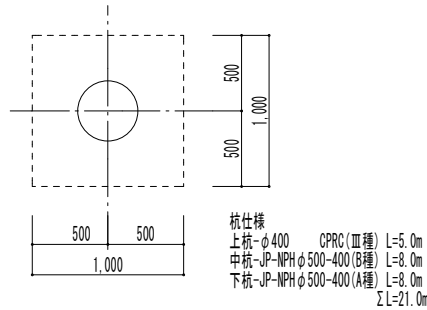
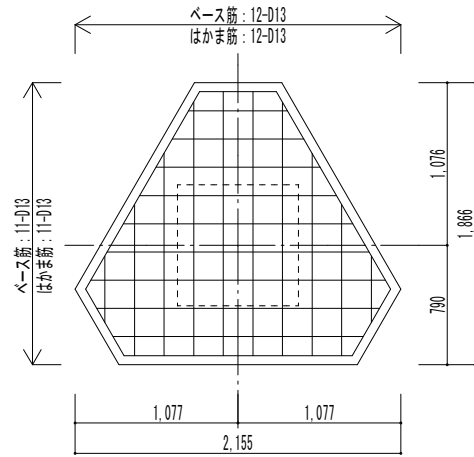
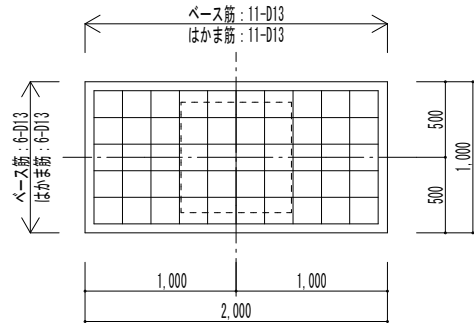
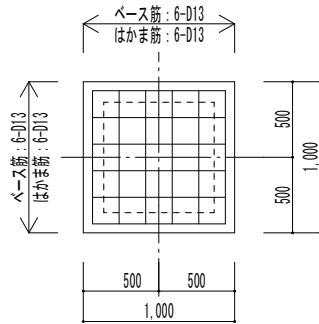
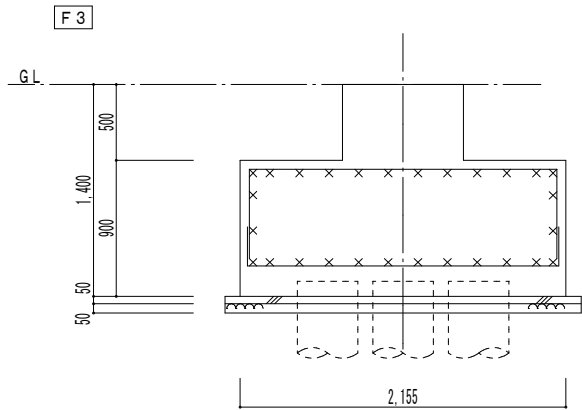
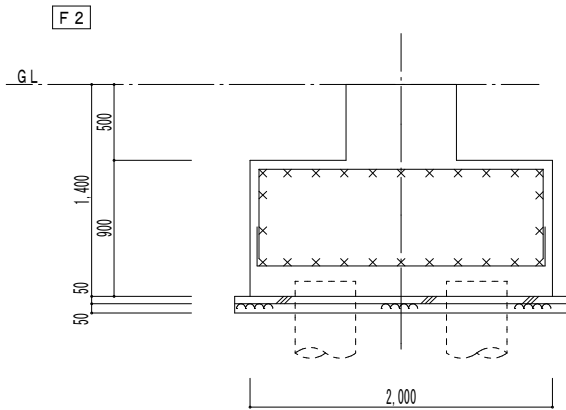
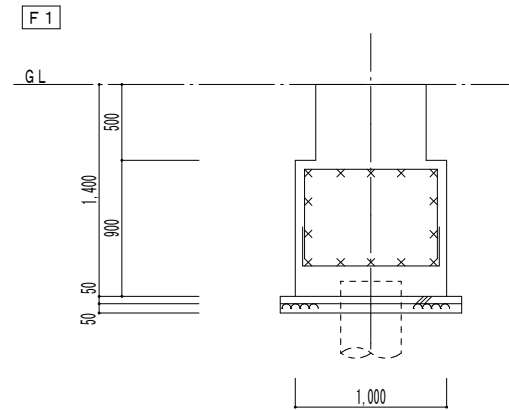
× 2 通り軸組図



× 1 通り軸組図



	(株) スギ建築事務所 一級建築士事務所 (〒422-8046) 電話 (054) 287-4488 登録 (16) 第73号 静岡市駿河区中島153-2 FAX (054) 287-2992 一級建築士 杉田 晴彦 登録 第251420号	年月日 H30. 4.	所長 杉田	担当 杉田	工事名 平成30年度静岡県立こども病院内保育所建設及び浄化槽更新工事	全業の内	
		訂正					
		.					
		.		製図 杉田	図面名 軸組図4	縮尺 1:100	S 15



符号	FG1	FG2			FG3	FG4	FG5	CFG1		
位置	全断面	外端	中央	内端	全断面	全断面	全断面	元端	先端	
断面										
	BxD	350x1300			350x900	350x900	350x1300	350x900		
	上端筋	5-D25	3-D25	3-D25	5-D25	4-D25	3-D25	3-D25	2-D25	
	下端筋	4-D25	3-D25	5-D25	3-D25	5-D25	4-D25	3-D25	2-D25	
	S. T. P	D13-200@	D13-200@			D13-100@	D13-200@	D13-200@	D13-200@	
腹筋	6-D10	6-D10			4-D10	4-D10	6-D10	4-D10		

符号	FB1		FB2	FB3	FB4	CFB1. FB1A	
位置	端部	中央	全断面	全断面	全断面	全断面	
断面							
	BxD	300X600		300X1300	250X1300	250X1300	300X600
	上端筋	3-D19	2-D19	3-D19	2-D19	2-D16	3-D19
	下端筋	2-D19	3-D19	3-D19	2-D19	2-D16	3-D19
	S. T. P	D10-200@		D10-200@	D10-200@	D10-200@	D10-200@
腹筋	2-D10		6-D10	6-D10	6-D10	2-D10	

スラブリスト S=1 : 4 0			土間スラブリスト S=1 : 4 0
<div>S1</div>	<div>S2</div>	<div>FS1</div>	<div>DS150</div>

